



世界最大級 旅の祭典

ツーリズムEXPO ジャパン2022

2022年9月22日(木)～25日(日) 東京ビッグサイト

HELLO NEW JOURNEY

〔出展者数〕世界 **78** 力国・地域

国内 **47** 都道府県

1,018 企業・団体

〔来場者数〕合計 **124,074人**

9月22日(木)／業界・プレス日

24,794人

9月24日(土)／一般日 **40,483人**

9月23日(金・祝)／業界・プレス日

18,811人

9月25日(日)／一般日 **39,986人**

【主催】公益社団法人 日本観光振興協会／一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)／日本政府観光局 (JNTO)



ツーリズムEXPOジャパン 2022 コロナ禍経て2年ぶり、東京では4年ぶりに開催 124,074人が来場！

公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2022」を2022年9月22日（木）から25日（日）に東京ビッグサイトで開催。コロナ禍を経て2年ぶり、東京では4年ぶりとなり、世界78カ国・地域、国内47都道府県から1,018の企業・団体が出展し、会期中の来場者数は124,074人に上りました。

8回目となった2022年は、「新しい時代へのチャレンジ～ReStart～」がテーマ。9月22日（木）、23日（金・祝）の業界日は基調講演のほか、7カ国の観光大臣・観光行政トップ、4つの国際観光組織の代表が集結した「第5回TEJ観光大臣会合」が開催され、気候変動への対応などについて意見が交わされました。基調講演とTEJ観光大臣会合においては初めての試みとしてライブで配信し、その模様は、会期後も公式サイトのアークアイブで見ることができます。また、9月22日（木）の記者会見ではJATAの高橋広行会長が全国旅行支援の開始や海外からの個人旅行解禁、短期滞在ビザ免除などの水際対策緩和に触れ、「日本の観光産業が良いスタートを飾る象徴的なイベントになった」との見解を示しました。

商談会では、事前アポイントメント制で5,114件の商談が行われました。出展企業・団体においては、パンデミック後を見据えた新しい時代の観光資源の開拓や取り組みが行われ、SDGsや旅の多様性といったサステナビリティに配慮した、従来の観光とは一線を画す最新の旅が提案されました。

9月24日（土）、25日（日）の一般向けでは、メタバースやVR、現地にいるかのような臨場感を体感できる8Dオーディオなど、最新テクノロジーを活用したコンテンツも来場者の人気を集め、好評を博しました。

来年の「ツーリズムEXPOジャパン2023」は2023年10月26日（木）から29日（日）まで、大阪（インテックス大阪）で開催される予定。2025年、55年ぶりに開催される「日本国際博覧会」（大阪・関西万博）につなげるイベントとしての開催を目指します。



左から：
公益社団法人日本観光振興協会 理事長 久保田稔、
一般社団法人日本旅行業協会（JATA）会長 高橋広行、
日本政府観光局（JNTO）理事長 清野智

■ツーリズムEXPOジャパン 実績

2014年		
出展者数	世界151カ国・地域／国内47都道府県 1,129企業・団体	
来場者数	9/26（金）：業界・プレス日	41,063人
	9/27（土）：一般日	61,649人
	9/28（日）：一般日	54,877人
	合計	157,589人
2015年		
出展者数	世界141カ国・地域／国内47都道府県 1,161企業・団体	
来場者数	9/24（木）：業界・プレス日	5,860人
	9/25（金）：業界・プレス日	40,622人
	9/26（土）：一般日	64,959人
	9/27（日）：一般日	62,161人
	合計	173,602人
2016年		
出展者数	世界140カ国・地域／国内47都道府県 1,181企業・団体	
来場者数	9/22（木）：業界・プレス日	7,011人
	9/23（金）：業界・プレス日	42,023人
	9/24（土）：一般日	70,012人
	9/25（日）：一般日	66,798人
	合計	185,844人
2017年		
出展者数	世界130カ国・地域／国内47都道府県 1,310企業・団体	
来場者数	9/21（木）：業界・プレス日	8,671人
	9/22（金）：業界・プレス日	42,057人
	9/23（土）：一般日	74,040人
	9/24（日）：一般日	66,809人
	合計	191,577人
2018年		
出展者数	世界136カ国・地域／国内47都道府県 1,441企業・団体	
来場者数	9/20（木）：業界・プレス日	25,928人
	9/21（金）：業界・プレス日	40,345人
	9/22（土）：一般日	74,021人
	9/23（日）：一般日	67,058人
	合計	207,352人
2019年（大阪）		
出展者数	世界100カ国・地域／国内47都道府県 1,475企業・団体	
来場者数	10/24（木）：業界・プレス日	19,933人
	10/25（金）：業界・プレス日	28,375人
	10/26（土）：一般日	51,173人
	10/27（日）：一般日	51,618人
	合計	151,099人
2020年（沖縄）		
出展者数	世界30カ国・地域／国内28都道府県 285企業・団体	
来場者数	10/29（木）：業界・プレス日	2,197人
	10/30（金）：業界・プレス日	2,438人
	10/31（土）：一般日	9,094人
	11/1（日）：一般日	10,445人
	合計	24,174人

※「日本観光イベント」APANNIGHT
15、200人一般来場者は別途



ツーリズムEXPOジャパン 2022 (4つの事業)

① フォーラム&セミナー

「観光による気候変動への挑戦」をテーマに、世界の観光分野のトップリーダーが集結！
UNWTO(国連世界観光機関)と連携した観光大臣会合、基調講演とテーマ別シンポジウム

② 展示会

出展数：1,215小間、1,018企業・団体
「新しい時代へのチャレンジ～ReStart～」をテーマに、特集企画展を強化！

③ 商談会

登録者数：セラー626名、バイヤー554名 商談件数：5,114件
出展者のビジネス効果を追求する展示商談会を2日間開催

④ 交流事業

開催初日に交流事業「オープニングレセプション」「出展者レセプション」を開催
地域伝統芸能披露、ハンドオーバーセレモニー(東京～大阪)も実施

相乗効果を産み出す連携イベント

合同開催：VISIT JAPAN トラベル & MICEマート2022 主催：日本政府観光局(JNTO)
海外の訪日旅行取扱旅行会社等と日本の観光関係事業者が一堂に会する商談会

共同開催：トラベルソリューション展 2022 共催：日本経済新聞社
新しい時代の観光ビジネスを支える企業・団体、DX関連サービス企業等が集結

同時開催：GOOD LIFE フェア 2022 主催：朝日新聞社
心地よく豊かな未来を、企業と消費者がともに考える「体験メディア」イベント

オープニングセレモニー

9月22日(木) 9:30~10:00
東京ビッグサイト 東展示棟 Aステージ



公益社団法人
日本観光振興協会
会長 山西健一郎

国土交通副大臣
石井浩郎氏

国連世界観光機関 (UNWTO)
賛助会員部 本部長
イオン・ビルク氏



テープカットで開幕

東京で4年ぶり、ツーリズムEXPOジャパン開幕

「新しい時代へのチャレンジ〜ReStart〜」をテーマに国内外の観光リーダーが集結

初日のオープニングセレモニーでは、主催団体を代表して日本観光振興協会の山西健一郎会長が「コロナ禍を乗り越え、新たな観光の未来を切り拓いていくきっかけとするため、開催テーマを『新しい時代へのチャレンジ〜ReStart〜』としました」とテーマに込めた意味を説明。「新しい旅のカタチを東京から世界に発信することで、観光産業の復活に向けた足掛かりになると思っています」と意気込みを述べたのに続き、来賓を代表して石井浩郎国土交通副大臣が「感染状況に配慮しながら国内外の観光需要の喚起に向けて取り組むことが重要」と指摘した上で、『ワーケーション』や『第2のふるさとづくり』など、新たな交流市場の開拓にも取り組んでいきます」と挨拶した。

また、来日した国連世界観光機関 (UNWTO) のイオン・ビルク賛

助会員部本部長は、気候変動、インフレなどの世界環境変化に触れつつ、「TEJを通じて新しいアイデア、ビジネスモデルの創出を期待します」と呼びかけ、最後にテープカットが行われた。

登壇者

来賓：国土交通副大臣 石井浩郎氏／国土交通大臣政務官 西田昭二氏／国土交通省 観光庁 長官 和田浩一氏／国連世界観光機関 (UNWTO) 賛助会員部 本部長 イオン・ビルク氏

主催者：公益社団法人 日本観光振興協会 会長 山西健一郎／一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) 会長 高橋広行／日本政府観光局 (JNTO) 理事長 清野智

テープカット登壇者(来賓・主催者含む)：株式会社ジェシービー 取締役 兼 常務執行役員 岡崎正明氏／フィリピン共和国 観光副大臣 シャリマル・ホファ・タマノ氏／ANAホールディングス株式会社 代表取締役会長 片野坂真哉氏／日本航空株式会社 取締役会長 植木義晴氏／東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員 表輝幸氏／日本空港ビルディング株式会社 代表取締役副社長 鈴木久泰氏／東京国際空港ターミナル株式会社 代表取締役社長 土井勝二氏／ハワイ観光局日本支局 支局長 ミツエ・ヴァーレイ氏／株式会社BRICK's 代表取締役社長 吉川健一氏／世界旅行ツーリズム協議会(WTTC) シニア・ヴァイス・プレジデント マリベル・ロドリゲス氏

基調講演

9月22日(木) 13:00~13:30
東京ビッグサイト 会議棟 6階 会議室 605-608

テーマ “さあ、未来の空へ” 持続可能な航空業界への挑戦

新技術と連携で次世代につなぐ航空輸送と旅行体験

基調講演に登壇したのは、定期航空協会会長で全日空代表取締役社長の井上慎一氏。持続可能な航空業界の実現に向けた取り組みについて語った。

同氏が最初に指摘したのは、「さまざまな国と地域をつなぐ国際航空では、航空輸送で発生するCO₂がどの国家に帰属するか整理が難しい」という点。現在、国際線はICAO (国際民間航空機関) が定めるスキーム「CORSIA (コルシア)」に従ってCO₂削減に取り組んでおり、国内線は各国の法令等に基づき対応している。だが同氏は「これはルールのための取り組みではない。航空利用者の価値観の変容への対応、そして輸送を通じて生まれる価値を次世代につなぐため、航空会社自身がサステナビリティへの対応が不可欠と考えているからだ」と強調した。

航空輸送の脱炭素は技術的に非常に難しいが、IATAは2050年のネット・ゼロに向けて2つの視点を挙げている。その1つとして、SAFと呼ばれる持続可能な航空燃料の活用をはじめ、新技術、運航上の工夫など複数の手法の組み合わせを紹介。特にSAFはライフサイクルでのCO₂排出量が少なく、既存のエンジンや給油施設をそのまま使えるため「最も大きな役割を担う技術」と力を込めた。

もう1つの視点として、「燃料製造業者などあらゆる産業や政府支援を含めた官民連携、投資家、そして利用者との団結」に言及。国土交通省の航空局にカーボンニュートラル推進室が設置され、SAF



井上慎一氏

基調講演者

井上 慎一氏

(定期航空協会 会長／全日本空輸株式会社 代表取締役社長)

の国産化に向けた官民協議会が立ち上がり、日本における原料調達から製造、サプライチェーン構築まで課題解決に取り組んでいる現状を説明した。この協議会には、航空会社、燃料製造事業者、国土交通省をはじめ関係省庁が参加しているため、「オールジャパンでの取り組みが進められている」と話した。

将来の航空業界については、「技術革新を通じ、2050年までにCO₂を増やさない交通インフラに変革しようとしている。官民の枠、産業セクターの枠も越えて連携し、次世代に持続可能な航空輸送と旅行体験をつないでいきたい」と締めくくった。



第5回 TEJ観光大臣会合

9月22日(木) 13:50~15:50
東京ビッグサイト 会議棟 6階 会議室 605-608

テーマ

主題：観光による気候変動への挑戦

副題：ウィズコロナ・ポストコロナ時代の新しい産業のカタチとは

共催：



気候変動に対する新たな官民連携を模索

第5回TEJ観光大臣会合はリアルとオンライン配信のハイブリッド形式で開催され、7カ国の観光大臣・観光行政トップと、国連世界観光機関（UNWTO）、世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）、太平洋アジア観光協会（PATA）、アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション（ATTA）の4国際観光組織の代表計11名が参加し、日本からは石井浩郎国土交通副大臣が登壇した。

冒頭でUNWTOのイオン・ビルク賛助会員部本部長は「コロナ禍は持続可能な観光の推進や、官民連携について再考する貴重な機会となった。この会合での意見交換を楽しみにしている」と挨拶。セッションは2つのパートに分けて行われ、前半はコロナ禍における各国および組織の観光の状況、気候変動や持続可能な観光に対して行っている取り組みの共有、後半は気候変動対策に観光が貢献するため、政府と民間による新たな官民連携のあり方について意見交換が行われた。



モデレーターズアイ



課題を共有し官民が手を組んで新しい解決法を

株式会社コネクトワールドワイド・ジャパン 代表取締役
マージョリー・デューイ氏

2021年11月の国連気候変動会議（COP26）では、観光における気候変動対策に向けた「グラスゴー宣言」が発表された。この宣言には、「観光における気候変動対策のため、世界的に一貫した計画が緊急に必要である」と盛り込まれている。まずは各国の課題を共有し、解決に向けた手順や気候変動対策を反映した政策を学ぶ必要がある。また、官民連携による気候変動対策も重要なテーマだ。パンデミック後の世界で、観光を前進させる新しい解決方法を見出さなければならない。

第5回 TEJ観光大臣会合 登壇者



強力な官民パートナーシップは未来への解決策

国連世界観光機関（UNWTO） 賛助会員部本部長
イオン・ビルク氏

新型コロナウイルスのパンデミックは、観光業の脆弱性を浮き彫りにし、大きな打撃を与えた。アジア太平洋地域は最も影響を受けたエリアで、その影響は今なお続いている。こうした多くの不確実性の中で、非常に大きな課題の1つが「気候変動」だ。2050年のネット・ゼロ達成に向け、これまで多くの民間企業が先導して対策を行ってきた。

観光産業が有意義に気候変動対策を加速させるには、セクター全体でより野心的な取り組みが必要だ。気候変動という現代の最も差し迫った課題に取り組むため、新しい声やアイデアを受け入れ、これまで以上に協力し合わなければならない。強力な官民パートナーシップは、観光における気候変動対策を促進し、観光業の未来のための解決策を見つけるうえで不可欠なツールとなるだろう。

消費者がすでに変化していることも念頭に置かなければならない。気候変動の問題の中で、旅行の目的地も変化し、社会的・経済的な責任を持ちながら旅行する人が増えるはずだ。官も民もこの変化に対応しなければならない。パンデミックによる危機は、我々にそのチャンスを提供してくれた。この機会を捉えるためにも、UNWTO は団結し、一貫してこのような取り組みを支援していく。



気候変動や環境対応に向け省庁間協力を強化

フィリピン共和国 観光副大臣
シャリマル・ホファ・タマノ氏

毎年平均20回もの台風が到来するフィリピンにとって、台風と密接な気候変動への取り組みは必至であり、ASEAN 諸国でもこの分野でリーダーシップを取る存在である。気候変動への取り組みは、官民問わず環境配慮と持続可能な成長の両立が重視される。フィリピン観光省は持続可能な観光推進と、観光による自然や気候変動への影響を最小限に抑えるため、近年は環境天然資源省や農業省、内務自治省などの他省庁、地方政府と積極的な連携を行っている。

第5回 TEJ観光大臣会合 登壇者

観光と植樹の連携でCO₂排出抑制カンボジア王国 観光省 国務次官
トック・ソコン氏

カンボジア観光省は近年、森林破壊と二酸化炭素の排出抑制を目的に「One Tourist, One Tree（観光客1人に1本の木）」キャンペーンを始めた。ホテルやレストランなどの観光事業を対象に環境に配慮した経営に関する指標や賞を設定すると共に、観光関連の各協会を集めて気候変動の対策会議を行っている。2015年からは観光省と環境省が連携して観光客・住民を対象にビニール袋やプラスチックを削減する取り組みを行っている。

大干ばつを経て国土緑化と再エネ拡大に注力

ウズベキスタン共和国 副首相 兼 観光文化遺産大臣
アジズ・アブドゥハキモフ氏

大干ばつにより消滅の危機にあるアラル海を抱える中央アジアにとって、気候変動の問題は世界の中でも一層深刻で、周辺諸国は連携してこの問題に挑んでいる。ウズベキスタンは2億本の植樹を行う国土緑化プログラムや、グリーン経済への移行を目指して再生可能エネルギーや水素燃料の利用を推進している。これらの取り組みにより、2030年までには再生可能エネルギーの割合を25%以上に拡大、温室効果ガスは2010年比35%削減を目指している。

多様な地域連携を国が側面から支援

日本 国土交通副大臣
石井 浩郎氏

日本では文化や産業を生かした多様な地域連携が行われており、鳥羽市では二大産業の観光と漁業が連携して観光客に漁業を体験的に学ぶ機会を提供し、支笏湖では再生可能エネルギーを軸に、地域一体で自然の維持と気候変動に対応した取り組みが行われている。日本はUNWTO駐日事務所と連携して国際基準に準拠した「日本版持続可能な観光ガイドライン」を策定するなど、こうした各地の取り組みを持続可能な観光につなげるべく支援を行っている。

パンデミックを越えて自然・人的災害からの復興支援も

太平洋アジア観光協会 (PATA) 副会長
ベンジャミン・リャオ氏

旅行者も受け入れ地域側も、意識が変化している。我々も、官民メンバーで構成された組織としてネットワーク力を活かし、持続可能な産業へ転換するためのサプライチェーン・マネジメント改善や脱炭素化に取り組んでいる。今年は、自然・人的災害に備えるための観光レジリエンス・プログラム (TDRP) をドイツ政府系企業GIZと共に開発。プラスチック削減ガイドラインやホテルのネット・ゼロ対策、持続可能なグルメ観光などにも取り組んでいる。

サステナブルな観光のカギとなる「地方主権」

スペイン王国 観光庁長官
フェルナンド・バルデス・ベレルスト氏

これからは気候変動対策が最大のチャレンジだ。観光業のバリューチェーンを持続可能なものに変え、投資先や取引先を見直す必要がある。その際、最も重視しているのは、受け入れ地域と一緒に取り組むこと。また、社会的な持続可能性も忘れてはいけない。観光客と住民、両方のための施策が必要で、国や州に加えて、地域の関係者も含めた協力体制が不可欠。これからのサステナブルな観光は、地方主権がカギになる。

2050年までのネット・ゼロ達成を目指す

世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC)
シニア・ヴァイス・プレジデント
マリベル・ロドリゲス氏

WTTC では気候変動対策を最優先課題と位置付けている。2050年までの排出ガスのネット・ゼロ達成を目標に設定、旅行観光産業が脱炭素を目指すための初の横断的なロードマップを策定し、課題の整理や事業者向けのターゲット設定などに着手。また消費者向けにサステナブルな旅行に関する認知度アップキャンペーンも展開している。今年11月、サウジアラビアのリヤドで開催されるWTTCグローバルサミットで、さらに議論を深めたい。

何よりもまず教育を。観光復興基金も検討すべき

ジャマイカ 観光大臣
エドモンド・バートレット氏

観光産業にとって自然は商品そのもの。気候変動は大きな危機でもある。特にカリブ海の島国など、観光に大きく依存する国や地域にとっては、重要課題だ。持続可能な観光への転換に向けて、着手しているのは人的資源の強化、人々の教育だ。一方、財政支援も課題だ。パンデミックや自然災害で、GDPの大半が消滅してしまうような小国もある。危機によるダメージを最小化し、回復を最速化するためのグローバルな観光復興基金の創設も提案したい。

気候変動対策のステークホルダーは全市民

駐日南アフリカ共和国大使
ルラマ・スマッツ・ンゴニヤマ氏

観光産業は南アフリカのGDPに大きな影響を与えているが、気候変動は社会的・経済的な悪影響をもたらす。南アフリカ政府は多くの気候変動対策を打ち出し、課題や脆弱性を認識して、観光業から排出される温室効果ガスを減らす方法を模索している。気候変動では全市民がステークホルダーだが、現状では人材やその他のリソースも不足しており、ノウハウも技術も足りていない。この改善に必要なものこそ、官民のパートナーシップだ。

教育の充実など小規模事業者支援で変革を後押し

アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション
最高経営責任者 シャノン・ストウウェル氏

米国は2030年までに温室効果ガスを40%削減できるとの見通しがある。アドベンチャートラベルは、大自然に依存したビジネスなので危機意識は高い。一方で、小規模事業者が多いため変革には支援が必要だ。気候変動関連の教育を充実させ、小規模事業者を支援してほしい。旅行者数はいずれ2019年レベルに戻るだろうが、各国政府は、より良いインパクトを残す人々を呼び込むことを考えるべきだ。今こそ量から質への転換を図ってほしい。

テーマ別シンポジウム

9月23日(金・祝) 東京ビッグサイト 会議棟 6階 会議室 605-608

サステナブル・ツーリズム・シンポジウム

●主催：日本政府観光局 (JNTO)

10:00~11:30

テーマ ～ポストコロナに選ばれる観光とは～ 今日から始められるサステナブルツーリズム

地域の知恵と価値観がベース、認証制度選びは自社の成長につながるものを

基調講演を行った加藤氏は、「地域の知恵や価値観を重視することが、サステナブルツーリズムの根幹」とあり、「高価である必要はなく、富裕層だけのものでもない」と話した。現在、400以上あるサステナビリティ関連の認証制度については、自社の成長や向上の支援になるもの、透明性があり信頼できるものを選ぶことで、従業員のモチベーションを高め、大きな変革につながるという見方を示した。

続くパネルディスカッションに登壇した鈴木氏は、北海道の優位性を活かすために、海外富裕層向けのアドベンチャー旅行に着目、昨年には国際認証団体Travelifeのパートナー登録を取得した。観光マネジメントは地域主導、マーケティングやPRは地域外の専門家の力を借りるべきと話した。

2008年に日本の宿泊施設では初となるグリーンキー取得に踏み切った齊藤氏は、信州の山の中で、自然災害の影響を受けてきたことが、住み続けられる地域を考える契機に。認証取得は大変だったが、新入社員獲得や改善点、次の目標などがわかる指標として役立っているという。

宿泊施設向けの認証制度「サステナブル・トラベル」バッジを展開しているオリビア氏は、そのメリットとして、レビュースコアや転換率の向上を挙げた。

モデレーターの中山理事は「地域の、地域による、地域のための観光を、という力強いメッセージをいただいた」と締めくくった。

基調講演 加藤 久美氏 (和歌山大学観光学部 教授)

モデレーター 中山 理映子 (日本政府観光局 理事)

パネリスト 鈴木 宏一郎氏 (株式会社北海道宝島旅行社 代表取締役社長)

齊藤 忠政氏 (扉ホールディングス株式会社 代表取締役社長)

ジョン・オリビア氏 (Booking.com Japan株式会社 東日本地区エリアマネージャー)



加藤 久美氏



中山 理映子



鈴木 宏一郎氏



齊藤 忠政氏



ジョン・オリビア氏

持続可能な観光推進シンポジウム

●主催：公益社団法人 日本観光振興協会

13:00~14:30

テーマ SDGsを踏まえた新しい教育旅行の今後に向けて

重視される探究学習、着地と発地の最新事例を紹介

教育関係者も多く参加した会場で、久保田理事長は「コロナ禍で中止や延期された修学旅行が再び重視されており、今後は体験的なSDGsの学びを盛り込むことが求められる」と主催者挨拶を行った。基調講演を行った古屋氏は「日本では他国に比べ、気候変動に対する危機意識が低いという調査結果がある。だからこそSDGsに関する教育が必要」と述べた。

続いて基調発表に登壇した高野氏は、2020~2022年に行われた小中高の学習指導要領の改定で「正解が存在しない課題を考える『探究学習』が重視され、教育旅行にもそうした要素が求められる」と述べた。また、高野氏はESD(持続可能な開発のための教育)という概念を紹介し「SDGs全てのゴールを下支えする存在で、文科省も重視している」とその重要性を指摘した。

事例発表は「着地」「発地」の各代表2名が登壇し、着地側として坪田氏からは、海の漂着ごみを回収調査し、減量について考える「若狭 de 海ごみ」など福井県のSDGsプログラムが紹介された。発地側として登壇した中島氏は、KNTが独自開発し、ビンゴを使いゲーム感覚でカーボンオフセットに取り組める教育旅行プログラム「Think the Blue Planet」を紹介した。

最後は古屋氏の進行で登壇者3名によるクロストークが行われ、高野氏の「修学旅行は数日間を通して大きなストーリーでの学びがあると望ましい」というコメントで締めくくられた。

主催者挨拶 久保田 穰 (公益社団法人 日本観光振興協会 理事長)

基調講演 古屋 秀樹氏 (東洋大学国際観光学部 教授)

基調発表 高野 満博氏 (公益財団法人 日本修学旅行協会 常務理事・事務局長)

事例発表① 坪田 昭夫氏 (公益社団法人 福井県観光連盟 専務理事)

事例発表② 中島 ゆか氏 (近畿日本ツーリスト株式会社 豊橋営業所 チームリーダー)



久保田 穰



古屋 秀樹氏



高野 満博氏



坪田 昭夫氏



中島 ゆか氏

SDGsにスポットを当てた「光る取組」

出展者の「光る取組」を募集し広報

日本におけるSDGsへの関心が、特にコロナ禍を経て急激に高まる中、今回のツーリズムEXPOジャパンでは、出展者に対し、積極的に推進しているSDGs17の目標に向けた「光る取組」の募集を行った。

応募のあった57件の取り組み内容を掲載した冊子を作成し会場で配布、一般日のステージで演目の合間にはモニターに投影し取り組み紹介をしたほか、関連企業・団体の広報チャンネルで国内外に発信し、持続可能でよりよい社会を目指す世界共通の目標に取り組む企業・団体を広くアピールした。

- 応募者：ツーリズムEXPOジャパン2022に出展する地域、企業、団体
- 応募対象：SDGs17のいずれかの目標達成に向けた取り組みであり、すでに開始している取り組み
- 応募数：57件



『ツーリズム EXPO ジャパン 2022 出展者による SDGs17 の目標達成に向けた光る取組紹介』冊子

ツーリズムEXPOジャパン 2022が取り組むSDGsイベント運営

展示商談会計画から開催に向けた事業活動で
“SDGs達成への貢献”にチャレンジ！

ツーリズムEXPOジャパン2022では、観光の側面からのSDGs貢献にとどまらず、「世界最大級の旅の祭典」の主催者の責任として、展示商談会計画から開催に向けた事業活動における“SDGs達成への貢献”にチャレンジし、一定の効果を得ることができた。



主催者としての具体的取り組み(出展者への推奨)

1. 資料のデジタル化

- 計画段階の資料や、来場者への当日のご案内等のデジタル化を推進・推奨

2. イベントで使用される光熱水量の削減

- LEDの積極採用をはじめとする、環境負荷を考慮した照明器具等の計画を推進・推奨
- 出展者に対するオプションメニューにおいても同様の方針で計画
- 設営時～開催～撤去時を通じ、空調や照明・水道の管理を徹底

3. リュース可能な設営部材の採用等による、
イベント廃棄物の削減

- システム材の積極的な採用やレンタル品などの活用で、産業廃棄物の削減を推進・推奨

4. その他

- 飲食出展者に対して、食品廃棄物やプラスチックごみの削減などSDGs達成に向けた展開内容を要請または推奨
- 来場者に、公共交通機関の利用を促す

※ 上記のほか、出展者が取り組むSDGsを学び、楽しみながら会場内を回遊する「観光 SDGs デジタルスタンプラリー」を実施。詳細はP21を参照。

オープニングレセプション

9月22日(木) 17:00~18:00 東京ビッグサイト 東展示棟 東2ホール Aステージ



フィリピン共和国のタマノ観光副大臣の首頭で乾杯

【登壇者】

ご来賓：国土交通副大臣 石井浩郎氏／前内閣総理大臣 衆議院議員 菅義偉氏／衆議院議員 坂井学氏／国土交通省 観光庁次長 萩川直也氏／株式会社ジェーシービー 代表取締役会長 兼 執行役員社長 浜川一郎氏／フィリピン共和国 観光副大臣 シャリマル・ホファ・タマノ氏／全日本空輸株式会社 上席執行役員 石井智二氏／日本航空株式会社 取締役会長 植木義晴氏／東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長 喜勢陽一氏／国連世界観光機関 (UNWTO) 賛助会員部 本部長 イオン・ビルク氏／世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) シニア・ヴァイス・プレジデント マリベル・ロドリゲス氏／カンボジア王国 観光省 国務次官 トック・ソコン氏／ジャマイカ 観光大臣 エドモンド・バートレット氏／駐日南アフリカ共和国大使 ルラマ・スマツ・ンゴニマ氏／太平洋アジア観光協会 (PATA) 副会長 ベンジャミン・リャオ氏／アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション 最高経営責任者 シャノン・ストーウェル氏

主催者：公益社団法人 日本観光振興協会 理事長 久保田稯／一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) 会長 高橋広行／日本政府観光局 (JNTO) 理事長 清野智



日本政府観光局 (JNTO) 理事長 清野智



国土交通副大臣 石井浩郎氏



前内閣総理大臣 衆議院議員 菅義偉氏



フィリピン共和国 観光副大臣 シャリマル・ホファ・タマノ氏



エコ素材で作られたお揃いの法被を着た登壇者

「この笑顔の世界へ」海外観光トップも参加し活気あふれるレセプション

オープニングレセプションはコロナ感染対策のため、招待制で行われ、開会前の会場では、久しぶりの再会を喜び合う参加者たちの姿が随所で見られた。

冒頭では主催者を代表し、清野JNTO理事長が「先ほど会場を回ってきたが、どのブースでも出展者が元気な笑顔で迎えてくれた。この笑顔を世界に共有することによって、良い世界になっていくと思う」と挨拶。

来賓からは2名が登壇し、前内閣総理大臣の菅義偉氏は「インバウンド3200万人を復活させたいという思いで今回出席した。入国規制も緩和の方向に進み、円安の現在は最高のチャンス。先頭に立って頑張れるのがここにいる皆さんだ」と激励。石井国土交通副大臣は「今回のTEJで、世界からお越しの皆さんに我が国の良さを感じていただき、観光を通じた国際相互理解の促進につながるきっかけとなることに期待している」と述べた。

続いて主催者、菅氏や石井氏などの来賓とスポンサー、観光大臣会合に参加した各国の観光トップなど計20名が、環境に配慮したエコ素材で作られたお揃いの法被を着て登壇。フィリピン共和国のタマノ観光副

大臣が「今回のTEJは旅行業界の回復力の象徴であり、業界復活のために団結して、手を取り合うことを目的としている」と乾杯の挨拶を行った。

その後、1964年に創設され、海外でも多くの公演経験がある東京・高円寺阿波おどり連協会所属の「菊水連」がステージに登場。華やかで迫力ある踊りを披露した後、メンバーの一人が「皆さんで踊りましょう」と声をかけ、阿波おどりの基本の動きを流暢な英語で説明。参加者はそれぞれ席から立ち上がって阿波おどりを楽しみ、会場は大きな盛り上がりを見せた。



「菊水連」による華やかで力強い阿波おどりと盛り上がる会場内

出展者レセプション

出展者ブースでは、関係者を招いたレセプションが行われていた。



東京から2023年開催地の大阪へフラッグ・ハンドオーバー・セレモニー

今回の開催地・東京から2023年の開催地・大阪へフラッグを手渡すセレモニーが行われた。TEJ実行委員長の高橋JATA会長は「2019年に大阪で開催されたTEJは大成功だったが、それをさらに上回る素晴らしいイベントにしたい」と挨拶。

東京観光財団の鈴木氏は「昨年12月、当財団と大阪観光局は包括連携協定を締結した。共に日本の観光発展に貢献し



ていきたい」と述べ、2025年の大阪・関西万博公式キャラクター「ミャクミャク」と登壇した大阪観光局の福島氏は「大阪・関西万博とエキスポtoエキスポでつながるTEJ2023を開催できることを嬉しく思う。オール関西で万全のサポートを行いたい」と述べた。

商 談 会

9月22日(木) 10:00~17:00 9月23日(金・祝) 10:00~18:00 東京ビッグサイト 東展示棟
東1・2・4・5ホール 各出展ブース／商談セッション数:5,114件

インバウンド、アウトバウンドともに日本への期待高く 事前アポイントメント制で効率よく最新情報を収集

日本の旅行会社などのバイヤーと、国内都道府県および海外の観光局、自治体、旅行事業者、宿泊・運輸・観光施設などのセラーによる商談会を、9月22日(木)と9月23日(金・祝)に実施した。参加したセラー数は626名、参加バイヤー数は554名。商談セッション数は5,114件となった。

コロナ禍の影響で、海外から日本に入国するためには、まだまださまざまな規制が残る中での開催となったが、「目標としていた例年の70%を上回ることができた。これはインバウンドとアウトバウンドの両方において、日本への期待の高さを示すもの」と日本旅行業協会(JATA)の高橋広行会長は力を込めた。

商談会は、従来の展示会場内でのFace to Faceスタイルを踏襲。それぞれ趣向を凝らした出展ブースの一角に、椅子と机を用

意した商談スペースで実施されるとともに、コロナ禍の2020年に取り入れられたオンライン商談にて遠隔地の事業者との商談を行うなど、ハイブリッドな商談会となった。また、会場内には、バイヤーが待機するためのバイヤーラウンジも設置された。デスティネーションの雰囲気により伝わる雰囲気の中で、効率的に情報交換ができるどころが、忙しい参加者たちの間で好評だった。

商談は、両日ともに20分単位。参加登録を済ませたセラーとバイヤーから、事前にアポイントの希望を募った後、マッチングシステムにより当日の商談スケジュールを確定する仕組み。久しぶりに顔を合わせて、注目の観光素材や、おなじみの観光スポットの最新情報について話し合う旅行関係者たちで活況を呈し、ツーリズムの本格的なリスタートを象徴する場面の一つとなった。



在日外国人メディアとの個別ビジネスセッションを実施

9月23日(金・祝)には、在日外国人メディアと訪日プロモーションに取り組む国内の出展者を対象とした個別ビジネスセッションが実施された。在日外国人メディアは、The Japan Times、NATIONAL GEOGRAPHIC、Tokyo Weekender、Daily Telegraph、TTG Asiaや各航空会社の機内誌、トラベルガイドブックなど、さまざまなメディアで日本の情報を発信している在日外国人メディア9名が参加し、出展者30社60名と合計36件が行われた。

実施3回目となる今回は、事前にメディアへの質問をヒアリングし、メディアは具体的なアドバイスを事前に用意ができた。商談会場では、それぞれ活発な情報交換や商談が行われ、出展者アンケート

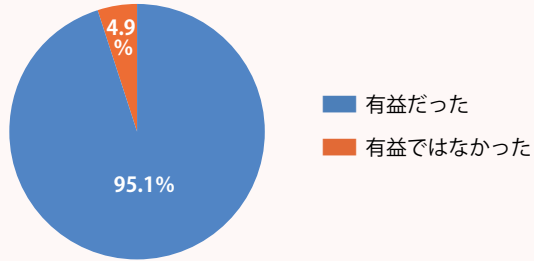
では、「外国人目線で具体的なアドバイスをもらえた」「日本語で交流できる機会ありがたい」「外国人メディアとつながる機会がもてた」「記事掲載につながった」などの回答が寄せられた。



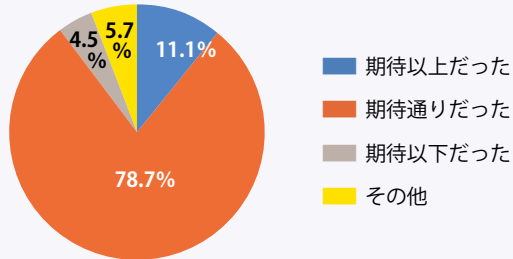
商談会参加者アンケート

セラーアンケート結果

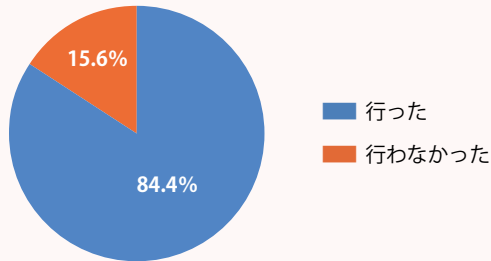
1. 商談会は有益でしたか



2. 期待していた内容の商談ができましたか

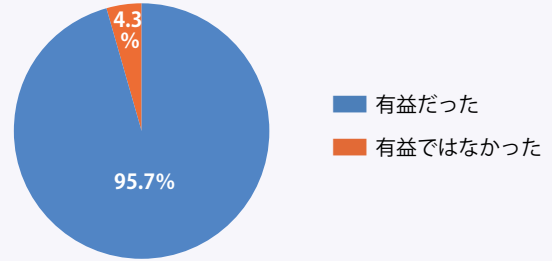


3. 事前マッチング以外の商談を行いましたか

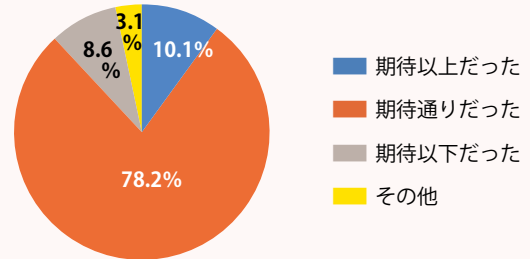


バイヤーアンケート結果

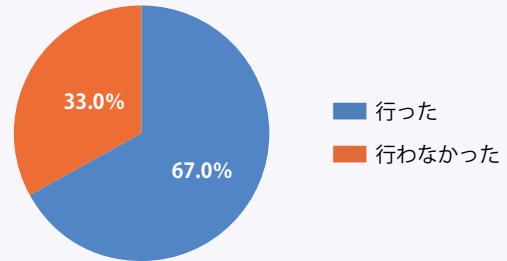
1. 商談会は有益でしたか



2. 期待していた内容の商談ができましたか



3. 事前マッチング以外の商談を行いましたか



セラーコメント

●ポジティブ

- ・業界日の商談会は特に有益な情報交換の場であり、リアル開催への感謝とともに、旅行業界に活気が戻ってきたと感じられた。
- ・久しぶりの対面式かつ東京開催で、商談会では今まで直接面識のない重要なバイヤー様と多く知り合うことができ、有意義だった。
- ・遠方からも多くの方にご参加いただいたお陰で、日頃セールスコールにうかがえない方々にPRでき、各旅行会社等の現状やニーズを知ることもできて今後のモチベーションにつながった。
- ・すぐに取り組みしましょう! というような商談もでき、非常に有意義だった。
- ・マッチングサイトがとても使いやすくなり、お気に入り登録、レコメンド機能が便利だった。
- ・自らマッチング相手を探すことでより希望する相手とのマッチングが可能であると感じた。商談会では接点を持つことが難しい企業とじっくり商談ができた。ぜひ継続してほしい。

●課題

- ・ほとんどの商談枠が埋まったため、休憩時間が取れなかった。統一した休憩時間を取ってもらったほうが良い。
- ・短い商談時間を最大限に活かすために、メッセージを使って相手の望むことを知っておくこと、アピールポイントの整理や下準備が重要であると感じた。
- ・コロナ対策で仕方がないが、周囲の雑音もあり、商談時の飛沫防止の亚克力板はとても話しづらく、一部の出展者の音量オーバーにより商談に支障が出た。規定を守ってもらえるよう主催者の管理を求める。

バイヤーコメント

●ポジティブ

- ・サイトで事前マッチングしてから商談を行うなど、効率性がすごく良かった。
- ・コロナ禍で変わったこと、新たな取り組み、問題点や課題などが共有でき、有意義な商談だった。
- ・QRコード読み込み資料は、情報共有に便利だった。
- ・顧客への提案できそうな新たな情報も多く、大変有意義な商談だった。
- ・あまり馴染みのないエリア、遠方の方、新規施設やDMOとも商談ができて良かった。
- ・事前にコミュニケーションを取り、期待する情報を整理して聞くことができた。

●課題

- ・今回は新規の開拓があまりできなかった。
- ・もう少しホテル、観光事業者等に商談会に参加いただけると良い。
- ・今年は仕方がないが、海外オペレーターを探す貴重な場なので、海外からの参加を促してほしい。
- ・素材のブラッシュアップができた一方、今まで知っていた情報から特にアップデイトがないところもあった。
- ・商談システムは、参加者が一斉に登録することでより関心の高いセラーと商談することができるので、設定時期の改善を求める。
- ・旅行会社に対する商品造成の方法をあまり把握しておらず、一方的な説明で終わる出展者がいた。

「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート 2022」を合同開催

●主催：日本政府観光局 (JNTO) 東京ビッグサイト東展示棟 東6ホール

VISIT JAPAN トラベル&MICEマート 2022 (VJTM&VJMM) は、海外の訪日旅行取扱旅行会社等の責任者と日本全国の観光関係事業者が一堂に会し、訪日旅行ツアーの造成と訪日外国人旅行の拡大を図るために、延べ5,000件以上の商談機会を提供し、さまざまなインバウンド関連ビジネスを創出する商談会。これまでもツーリズムEXPOジャパンと合同開催されてきたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大後、初めて海外から参加者を日本に招聘し、3年ぶりの対面での開催となった。

9月22日(木)～24日(土)は、東6ホールで商談会が開催され、

9月24日(土)～27日(火)は、山形、新潟、石川・岐阜、長野、山梨・静岡、東京・箱根の全6コースのファムトリップが行われた。

●セラー：217社・団体／バイヤー：29カ国・地域 253名／商談数：5,394件





ツーリズムEXPOジャパン

NIKKEI

トラベルソリューション展 2022

～観光産業におけるコロナ対策からDX戦略まで～

9月22日（木）10:00～17:00 9月23日（金・祝）10:00～18:00

東京ビッグサイト東展示棟 東1ホール内

●主催：ツーリズムEXPOジャパン、日本経済新聞社

ツーリズムEXPOジャパンと日本経済新聞社が共催する「トラベルソリューション展2022」が9月22日（木）、23日（金・祝）の2日間にわたって開催された。

同展はツーリズムEXPOジャパンのフェア in フェアとして行われたB to B企画で、地域活性化支援ツールや宿泊や体験、アクティビティの予約システム、人流ビッグデータ分析、メタバースソリューションといったDX関連企業など約50社が出展。通信会社や電気機器メーカー、ナビゲーションサービスなどを手がける大手企業だけでなく、高い技術で観光産業をサポートする中小企業やス

タートアップ企業の出展も目立った。観光ビジネスに関するキーパーソンやユーザー企業・団体が多く集結するツーリズムEXPOジャパンと併催することにより、新たなビジネスの創出や活発な商談機会の場として、多くの関係者から注目を集めた。

会期中は来場した業界関係者はもちろん、ツーリズムEXPOジャパンに出展している自治体やDMO、宿泊施設、交通事業者の担当者らも足を運び、各ブースで熱心に話し込んだり、商品やサービスのデモンストレーションを体験したりする姿が印象的だった。

主な出展分野

●デジタルインフラを活用した「新しい観光支援」

●マーケティングシステム・データ提供サービス

●観光産業向け製品・サービス、移動・モビリティ関連

●訪日・観光メディア



ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー

9月22日(木)、23日(金・祝)
東京ビッグサイト東展示棟 Aステージ/
東展示棟 セミナールーム

“プロ”を目指す観光業界関係者向けプログラム「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」は、
コロナ禍を経てリスタートを図るべく、観光業界のさまざまな視点から必見・必聴のコンテンツを集めて展開され、
多くの業界人が熱心に聴講する姿が見受けられた。

P I C K U P !

クルーズセミナー／安全・安心なクルーズの旅



【講 師】
邦船 一般社団法人 日本外航客船協会 (JOPA) 外航クルーズ船事業者の
新型コロナウイルス感染予防対策
ガイドライン改正委員会 委員
日本クルーズ客船株式会社 海務部
次長 松田義則氏
外船 日本国際クルーズ協議会 (JICC)
副会長 シルバーシー・クルーズ
日本・韓国支社長 糸川雄介氏
行政 国土交通省 港湾局 産業港湾課
クルーズ振興室長 池田円氏
コーディネーター みなと総合研究財団
首席研究員 沖田一弘氏

外航クルーズ再開に向け、 関係団体の準備進む

「安全・安心なクルーズの旅」をテーマとしたセミナーでは、日本クルーズ客船の松田氏が、邦船3船の船内にPCR検査機器を設置したことなど感染防止策を説明。「安全・安心なクルーズをPRできるポイント」と強調した。JOPAでは外航クルーズを対象とした新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインの改訂を進めており、1日も早い外航クルーズの再開に向けて取り組む方針を示し、シルバーシー・クルーズの糸川氏は、外航クルーズガイドラインの策定とカボタージュ規制、水際対策、検疫体制が日本の課題としつつ、その上で「年末年始の運航再開と、来春以降の本格運航をターゲットとしている」と語った。

国土交通省港湾局の池田氏は、「まずは国際クルーズ用のガイドラインを作成していく必要があり、港湾局として寄港地と船社が安全・安心な環境づくりを進めていけるように支援していく」と、外航クルーズ再開に向け注力するとした。

P I C K U P !

企業・地域それぞれの視点で考えるこれからのワーケーション



【挨拶】
国土交通省 観光庁 観光地域振興部
観光資源課長 富田建蔵氏
【事例紹介：パネルディスカッション】
一般社団法人信州たてしな観光協会
専務理事 渡邊岳志氏／株式会社YeeY
代表取締役 島田由香氏／一般社団法人
日本ワーケーション協会 代表理事
入江真太郎氏／株式会社パソナJOB
HUB ソーシャルインノベーション部長兼
事業開発部長 加藤遼氏
●主催：国土交通省 観光庁

企業、地域におけるワーケーションの 意義や効果を紹介

新たな働き方や旅のスタイルとして注目されているワーケーションをテーマにしたセミナーが開催され、観光庁の富田氏は「観光需要の平準化に加え、働き方改革、地方創生にも資するのがワーケーション」と挨拶。続いて、ワーケーション受け入れ地域から信州たてしな観光協会の渡邊氏が事例を紹介。「立科町の場合、ワーケーション受け入れの9割がシステム開発など業務中心の合宿」であり、「企業のゆい」として手が届く、現地環境に詳しいコーディネーターは欠かせない」と指摘した。

YeeYの島田氏は企業の視点から「パフォーマンスを最大限発揮でき、自律型の社員の育成手段」としてワーケーションを評価。日本ワーケーション協会の入江氏は「家族連れワーケーションなら、訪問先が第二の故郷になる」と関係人口の拡大に注目。パソナJOB HUBの加藤氏は「働き方だけでなく、ライフスタイル全般を変革する」と今後への期待を示した。

P I C K U P !

第15回産業観光まちづくり大賞表彰式



【受賞団体】
金賞：NPO法人ORGAN【岐阜県】
経済産業大臣賞：公益社団法人やまなし
観光推進機構【山梨県】
観光庁長官賞：横須賀市【神奈川県】
銀賞：越前海岸盛り上げ隊【福井県】
特別賞：一般社団法人備前観光協会
一般社団法人みんなでびぜん
【岡山県】
●全国産業観光推進協議会
公益社団法人 日本観光振興協会

NPO法人ORGANが金賞、 全5団体が入賞!

第15回産業観光まちづくり大賞表彰式が行われ、産業観光拠点「和傘CASA」を端緒とした、伝統工芸岐阜和傘の産業再生への多面的取り組みが評価されたNPO法人ORGANが金賞を受賞したほか、やまなし観光推進機構、横須賀市、越前海岸盛り上げ隊、備前観光協会・みんなでびぜんの全5団体が受賞した。

パネルセッションでは受賞者の蒲氏、仲田氏、倉林氏、田中氏、船橋氏が各プロジェクトを紹介し、審査副委員長を務めた多摩大学の望月照彦名誉教授が受賞した5団体について、「次世代につなげるまちづくりや、どのように産業を再生していくかを考えて取り組んでいる。非常に優れた観光資源を持ち、それが未来をつくることにつながっているエリアではないか」と講評を行った。



■ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー タイムテーブル

	日時	場所	講演タイトル	主催
9/22 (木)	12:30～14:00	1F 東4	アフターコロナの観光戦略と旅行会社との連携について	一般社団法人日本旅行業協会 国内旅行推進部
	12:30～14:00	1F 東5	中小観光事業者向け経営支援のご紹介	一般社団法人日本旅行業協会 総務・広報部
	14:30～16:00	1F 東5	それぞれの「観光」DX～DXのあるべき姿と観光予報プラットフォームが提供できるデータと機能～	観光予報プラットフォーム推進協議会
9/23 (金・祝)	14:30～16:00	2F 東1(2)	ベトナム観光振興開発	ベトナム観光開発基金
	12:30～14:00	Aステージ	クルーズセミナー／安全・安心なクルーズの旅	ツーリズムEXPOジャパン
	14:30～16:00	Aステージ	第15回産業観光まちづくり大賞表彰式	全国観光推進協議会・公益社団法人日本観光振興協会
	16:30～18:00	Aステージ	ワーケーションシンポジウム	ツーリズムEXPOジャパン／国土交通省 観光庁
	12:30～14:00	1F 東4	JALふるさと応援隊が語る地域活動について	一般社団法人日本旅行業協会 総務・広報部
	14:30～16:00	1F 東4	星空を活かした地域ブランディングで新たな観光を興す	一般社団法人宙ツーリズム推進協議会
	16:30～18:00	1F 東4	持続可能な観光評価システム STARS (Sustainable Tourism Assessment & Review System)	和歌山大学観光学部
	12:30～14:00	1F 東5	「法務セミナー ①ホームエージェント型旅行者代理業者のすすめ／②個人情報保護法の改正ポイント」	一般社団法人日本旅行業協会 法務・コンプライアンス室
	14:30～16:00	1F 東5	不思議の国ウェールズ&美味しい国ウェールズ Try me!/Eat me!	英国 ウェールズ政府
	16:30～18:00	1F 東5	日本酒蔵ツーリズム事例紹介	日本酒蔵ツーリズム推進協議会
	10:30～12:00	2F 東1(2)	JICAセミナー：観光で持続可能な社会をつくる！	独立行政法人国際協力機構
	12:30～14:00	2F 東1(2)	緊急報告 「Z世代の海外旅行意識調査」	一般社団法人日本旅行業協会 海外旅行推進部 (協力：アウトバウンド促進協議会)
	14:30～18:00	2F 東1(2)	5年後の観光業「勝ち残り戦略」～大学生と業界人が描く未来図	旅行産業経営塾OB会

展 示 会

新しい時代にマッチした特集企画、SDGsを意識した展示も！

コロナ禍を経て2年ぶり、東京では4年ぶりの開催となった2022年は、イベントテーマである「新しい時代へのチャレンジ〜ReStart〜」を訴求するため、ワーケーション、ドライブツーリズム、星空ツーリズムなどの特集エリアや、アカデミー、観光SDGs、アドベンチャーツーリズム、クルーズ、スポーツツーリズム、旅の広場などの特別コーナーなど、新しい時代にマッチした観光のカタチを提案。

また、各出展ブースでもSDGsを意識した展示や体験型コンテンツを充実させ、より進化した展示会となった。

特集エリア

ワーケーション



ドライブツーリズム



特別コーナー

特別コーナー 東1ステージ 特別コーナー 東4ステージ



星空ツーリズム



アカデミー



観光SDGs



アドベンチャーツーリズム



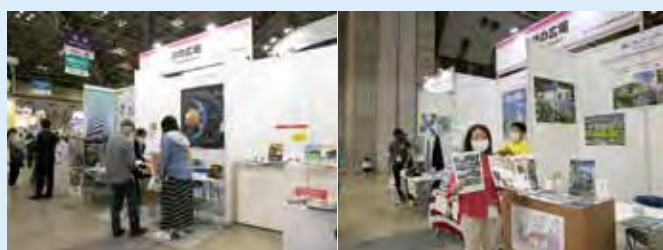
クルーズ



スポーツツーリズム



旅の広場



一般日(展示ブース)



ブースグランプリ

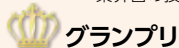


ブースグランプリは各出展ブースの中から来場者からの投票により、展示会を盛り上げたブースを選出する表彰プログラムです。審査基準は「オリジナリティ溢れるブースデザイン、魅力的な演出であるか」「スタッフの接客やホスピタリティが充実しているか」「心を動かされる（印象に残る・人に勧めたくなる）内容であるか」「ブースを訪問してその国・地域・企業・団体の印象が大きく変わったか」の4つ。

業界関係者の投票にて選出される「旅のプロが選ぶブースグランプリ」と一般日の投票にて選出される「旅の愛好家が選ぶブースグランプリ」の2部門で、グランプリ（2出展者）、準グランプリ（2出展者）、特別賞（2出展者）、実行委員長賞（2出展者）の全8団体が選出されました。

～旅のプロが選ぶブースグランプリ～

業界日の投票にて決定！（投票者：業界日來場者）



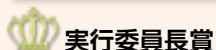
一般社団法人 登別国際観光コンベンション協会



韓国観光公社



飲泉・自家源泉かけ流し 観音温泉

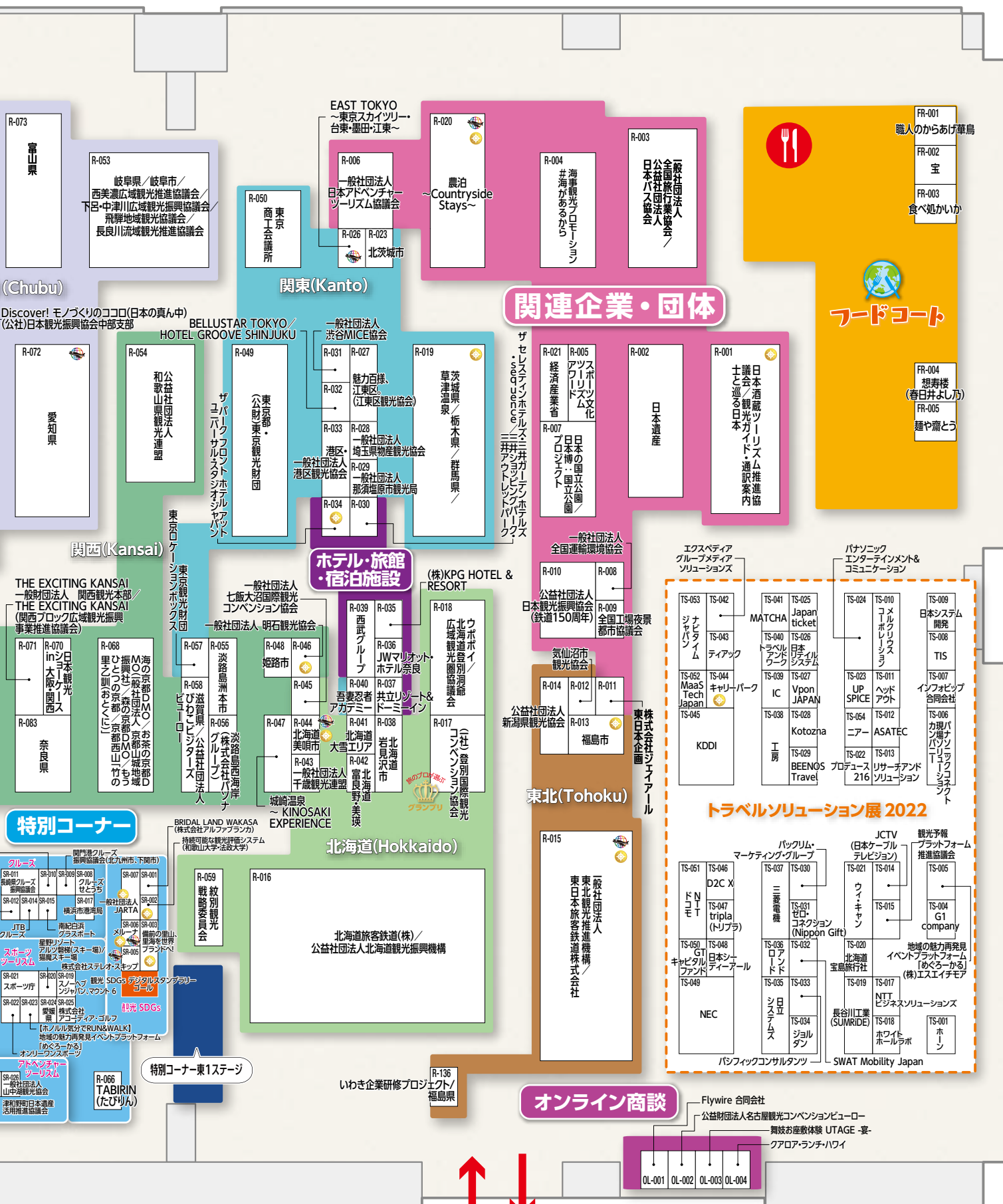


台湾観光協会



フロアマップ①（東1・2ホール）





観光 SDGs デジタルスタンプラリー
参加団体

光る



取組実施団体



インフォメーション/
迷子センター



飲食コーナー

東
展
示
棟

東2
ホール
東5
ホール

東1
ホール
東4
ホール



～旅の愛好家が選ぶブースグランプリ～

一般日の投票にて決定! (投票者: 一般日来場者)



グランプリ

韓国観光公社



準グランプリ

九州



特別賞

飲泉・自家源泉かけ流し 観音温泉



実行委員長賞

沖縄県



東5ホール

内覧風景



国土交通副大臣
石井浩郎氏



防衛副大臣 兼 内閣府副大臣
井野俊郎氏



国土交通大臣政務官
清水真人氏



国土交通大臣政務官
西田昭二氏



前内閣総理大臣
菅義偉氏

衆議院議員
坂井孝氏



衆議院議員
伊藤忠彦氏



衆議院議員
岩屋毅氏



衆議院議員
佐藤英道氏



衆議院議員
中川宏昌氏



衆議院議員
古屋圭司氏



衆議院議員
堀内詔子氏



衆議院議員
三ツ林裕巳氏



衆議院議員
宮内秀樹氏



衆議院議員
山口晋氏



衆議院議員
山本剛正氏



参議院議員
朝日健太郎氏



参議院議員
江島潔氏



参議院議員
竹内真二氏



参議院議員
鶴保庸介氏、三木亨氏



参議院議員
山谷えり子氏

表敬訪問



国連世界観光機関 (UNWTO) 賛助会員部
本部長 イオン・ビルク氏



ウズベキスタン共和国 副首相 兼 観光文化遺産大臣
アジズ・アブドゥハキモフ氏



国土交通省 観光庁長官
和田浩一氏



国土交通省 観光庁次長
坂川直也氏



ジャマイカ観光大臣
エドモンド・パートレット氏



マルタ共和国 外務・欧州・貿易大臣
イアン・ボルグ氏



インドネシア共和国 観光クリエイティブエコノミー省
マーケティング総局長 ラデン・ウィスヌ・シンドットリスノ氏



スペイン王国 観光庁 長官
フェルナンド・バルデス・ベレルスト氏



タイ国政府観光庁 副総裁
タネース・ペッサワン氏



タジキスタン政府観光開発委員会
副会長 カモリディン・ムミンソフ氏



南部アフリカ開発共同体 駐日ボツワナ共和国大使 ホシノケン
モラケ氏/駐日ナミビア共和国大使 モーヴェン・M・ルスウェニョ氏



韓国旅行業協会 会長
呉 敬熙氏



駐日イタリア共和国大使
ジャンルイジ・ベネディティ氏



駐日チュニジア共和国大使
モハメッド・エルーミ氏

ブースを回って世界各国・日本の観光SDGsを学びながら、賞品をゲットできる新企画！

ツーリズムEXPOジャパン2022では、観光分野におけるSDGs目標達成への貢献と、サステナブル・ツーリズムの推進への取り組み強化の一環として、9月24日(土)・25日(日)の2日間、一般来場者を対象に「観光 SDGs デジタルスタンプラリー」を開催した。

来場者は、会場ガイド内や会場入口に掲示されたQRコードをスマートフォンで読み取り参加。今回、本企画に39の出展企業・団体が参画し、それぞれのSDGsの取り組みをブースに設置したパネ

ルで紹介。来場者は、パネル内のQRコードを読み取りスタンプを収集し、10個以上集め抽選権を獲得。ゴールブースでは、参画出展者が提供する素敵な抽選賞品を入手するため多くの人で連日にぎわいを見せ、会場内では、さまざまな観光産業界でのSDGsの取り組みに触れながら、スマートフォン片手に各ブースを回る参加者の姿があちこちで見受けられた。



ふるさと納税をしてガラポン抽選会に参加！ 全国から10自治体が出展

「ふるさと納税を通じて地域を知り、楽しむ!」をテーマに、9月24日(土)・25日(日)に、「ふるさと応援フェスタ in ツーリズムEXPOジャパン」が開催された。これは、楽天トラベルクーポンをふるさと納税の返礼品として取り扱う自治体による、ふるさと納税関連プロモーションイベント。泉佐野市、鎌倉市、甲府市、神戸市、白浜町、富士河口湖町、別海町、別府市、南房総市、焼津市の10自治体が出展した。

その場で好きな返礼品を選んでふるさと納税をすると、ガラポ

ン抽選会に参加でき、各地の産品がもらえるほか、各出展ブースでもアンケートに回答すると産品がもらえたり、焼き肉の試食会があったりと、お得感も満載。スマートフォンでの納税のやり方も丁寧に説明してくれるとあって、多くの人が訪れた。



SDGsやモノ・コト・トキとの出会い！ ファミリーで楽しめる体験イベントも充実

9月23日(金・祝)～25日(日)に、明日からできる身近なことを知り・学び・体験することを通じ、心地よく豊かな生活につながる選択肢を発見する「体験メディア」イベントとして、「GOOD LIFE フェア 2022」が朝日新聞主催により開催された。今年初開催となる同イベントは、ツーリズムEXPOジャパンと同時開催(来場者は入場無料)することで、イベントとしての相乗効果を狙ったもの。

会場内は、衣食住を中心とした6つのカテ

ゴリーと、「SDGsマーケット」で構成され、各ブースでは親子で楽しめる体験型イベントも多く実施され、多くの家族連れでにぎわいを見せた。



展示会 [ステージスケジュール]

各国・地域の個性溢れるパフォーマンスとイベントで観客を魅了



9月24日 [土]	会場	東2	Aステージ	東5	Bステージ
	時間	10:30 - 11:00	10:30 - 11:00	10:30 - 11:00	10:30 - 11:00
	10:30		和歌山県の魅力を知ろう! WAKAYAMA REFRESH STAGE 和歌山県観光連盟		伊賀市×KENTO MORI 「Feel Like Ninja.」プロジェクト ライブパフォーマンス ケント・モリ、NINJAダンサーズ
	11:00		11:20 - 11:50 四国へおいでよ 四国		11:20 - 11:50 Mālama Hawai'i ～地球にやさしい旅を～ スペシャルゲスト
	12:00		12:10 - 12:40 奄美の伝統芸能「八月踊り」 東京山ゆり会		12:10 - 12:40 魅惑のタヒチアン ダンス ～タヒチの島々～ タヒチ観光局
	13:00		13:00 - 13:30 麻倉未稀 ライブ&クルーズトークショー 一般社団法人日本旅行業協会 クルーズ部会		13:00 - 13:30 ワンダフルインドネシア カルチャーパフォーマンス ワンダフルインドネシア舞踊団
	14:00		13:50 - 14:20 鹿児島バトルステージ ～いずみとりとりガールズ VS 錦江くわがたガールズ～ 出水市、錦江町、ぐりぶー、鹿児島から来た皆さん		13:50 - 14:20 タイのダンスパフォーマンス バーンラバムタイ舞踊団
	15:00		14:40 - 15:10 徳川家康と服部半蔵忍者隊演武&家康様クイズ大会 徳川家康と服部半蔵忍者隊® ※台風による交通運休等により出演取り消し		14:40 - 15:10 ハワイ アドベンチャーツーリズム フラダンスパフォーマンス フラサークル 青山学院大学「ウルヴェヒ」、 上智大学「ハウオリ」、立教大学「ナ・プア」
	16:00		15:30 - 16:00 とっとり知っとる?鳥取県ってこんなところ とっとり観光親善大使、トリビー (鳥取県PRキャラクター)		15:30 - 16:00 タイガーエア台湾とパートナーシップを結ぶ楽天モンキーズのチアリーダーが踊ります! タイガーエア台湾
	17:00		16:20 - 16:50 空手発祥の地・沖縄 沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課		16:20 - 16:50 安心して日本の「絶景美」をクルーズで巡る!最新情報 株式会社JTB ロイヤルロード事業部 西中今日子 (にしなかきょうこ) 株式会社クルーズプラネット 角井隆尚 (かくいたかなお) セブンシーズリレーションズ株式会社 中里裕香 (なかざとゆか)
	17:40		17:10 - 17:40 さあ行こう!美しい宙(そら)の世界へ。 ～バーチャル宇宙旅行体験～ 一般社団法人宙ツーリズム推進協議会		
9月25日 [日]	会場	東2	Aステージ	東5	Bステージ
	時間	10:30 - 11:00	10:30 - 11:00	10:30 - 11:00	10:30 - 11:00
	10:30		クイズに正解して四地区の特産品を当てよう! 鹿児島県四地区観光連絡協議会		韓国観光公社特別ステージ「韓国観光トークショー」 韓国観光公社
	11:00		11:20 - 11:50 広島&宮島観光親善大使がご紹介する!広島・宮島・呉の魅力満載の観光・体験コンテンツ with ゆかいなゆるキャラたち 広島観光親善大使の下林里沙、宮島観光親善大使の向井優芽、 呉市の公式キャラクター呉氏(くれし)、元祖ゆるキャラ・広島県の ブンカッキー by 広島観光コンベンションビューロー		11:20 - 11:50 Mālama Hawai'i ～地球にやさしい旅を～ スペシャルゲスト
	12:00		12:10 - 12:40 “星の郷”美星の魅力と星空の楽しみ方 岡山県井原市		12:10 - 12:40 ペルーの国民舞踊 ソレイルナ・ベルビアンダンススクールジャパン
	13:00		13:00 - 13:30 小山愛理プレゼンツ 横浜・みなとみらいで海事観光! 「#海あそび」を楽しもう! ～港町の情緒を感じる定番&最旬スポットをご紹介～ 国土交通省海事局		13:00 - 13:30 出会う・見つける中央アジア～シルクロードの旅～ 中央アジア5か国パフォーマー
	14:00		13:50 - 14:20 コロナ収束後を見据えたインバウンド誘客・観光消費喚起 大型プロモーション発表会 一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 (JSTO)		13:50 - 14:20 南アフリカ観光親善大使 女優 高橋ひとみさんを招いて、 南アフリカトークショー&南アフリカ ジョンベのリズムに合わせて盛り上がりよう! 南アフリカ観光局
	15:00		14:40 - 15:10 HOKKAIDO LOVE!/ 縄文・ウポポイ・北海道ボールパークFビレッジ (北海道日本ハムファイターズの新球場と周辺エリア) 公益社団法人北海道観光振興機構		14:40 - 15:10 ミス・ユニバース2018 日本代表 加藤ゆうみさんと巡るマレーシア マレーシア政府観光局
	16:00		15:30 - 16:00 石川の四季折々の美味い「魚」に会いにきませんか? 石川県/石川県漁業協同組合		15:30 - 16:00 Voice from the Mongolian Steppe モンゴル草原からの声 モンゴル観光協会
	17:00		16:30 - 17:00 閉会式/グランドフィナーレ 主催者/セレモニー		



閉会式／グランドフィナーレ

2022年9月25日（日）16:30～17:00
東京ビッグサイト 東展示棟 Aステージ

4年ぶりの東京開催は来場者数124,074人を記録し閉幕 2023年は2回目の大阪開催

開催は2年ぶり、東京での開催は4年ぶりとなった今年は、78カ国・地域、47都道府県から1,018企業・団体の出展があり、入場者数は4日間で計124,074人を記録した。会期中の商談件数も5,114件に上り、充実した観光見本市となった。

閉会式で挨拶に立った高橋実行委員長は、「観光業界は新型コロナで誇りを失いかけていたが、TEJ 2022でこれを取り戻す自信が出た。ここから反転攻勢に出て、このイベントがリスタートのきっかけになったと言われるように頑張りたい」と、大成功を強調した。同じく挨拶に立ったジェーシービーの岡崎氏は、「アフターコロナに向けての象徴的なイベントになった。今後、新しい旅の形が広がっていくのではないか」と今後への期待を語った。

閉会式では「ブースグランプリ」表彰式も行われた。今年は業界日部門、一般日部門に分けて、各部門でグランプリ、準グランプリ、特別賞として1団体ずつを選出。また、ブース訪問前後で印象が大きく変わった展示を行った団体に対し、実行委員長賞として、各部門1団体ずつを表彰した。

最後は全国のご当地キャラクターも集結し、盛大なグランドフィナーレを執り行うとともに、2023年の開催地、大阪での再会を約束して閉幕した。



※受賞者のブース写真紹介は、P16・P19を参照。



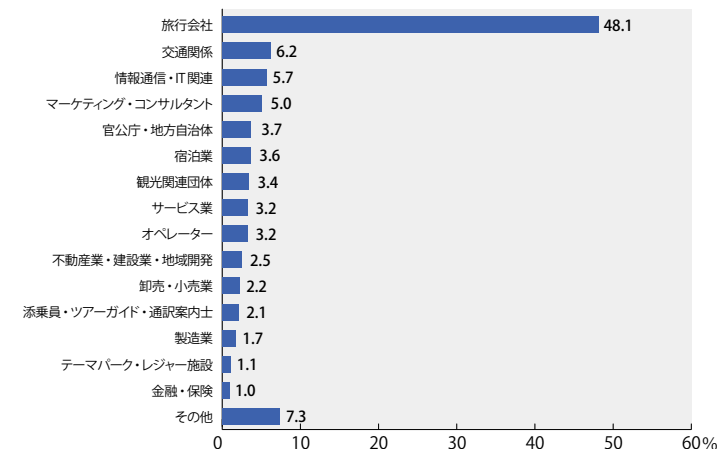
〔閉会式〕 株式会社ジェーシービー 取締役 兼 常務執行役員 岡崎正明氏
一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）会長 高橋広行
（ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長）
ブースグランプリ受賞者

〔グランドフィナーレ〕 出展者（全国・各地のご当地キャラクターなど）

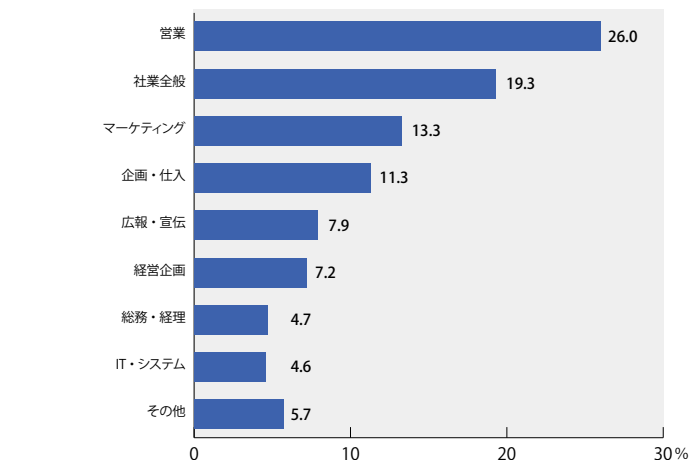
業界来場者／アンケート

来場者の業種は旅行会社が5割弱と突出しているが、「交通関係」のほか、「情報通信・IT関連」「マーケティング・コンサルタント」が上位を占めるなど、旅行業界以外の業種への広がりが見受けられる。来場目的を見ると、例年に比べ「情報収集」「知見を広げる」が突出しており、コロナ禍で更新ができなかった旅行関連情報を求める業界関係者が多いことがうかがわれるとともに、満足度も非常に高くなっている。

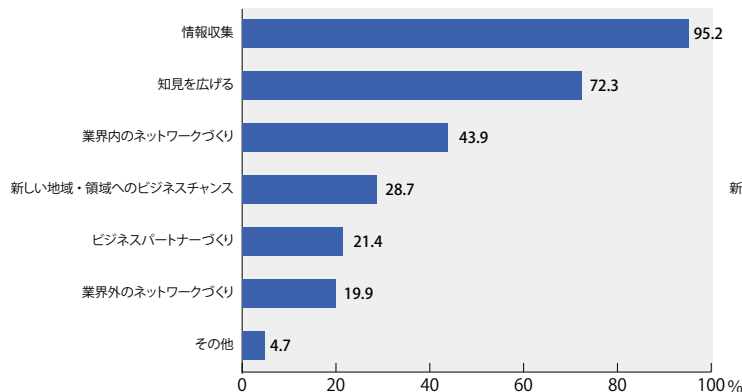
■業種



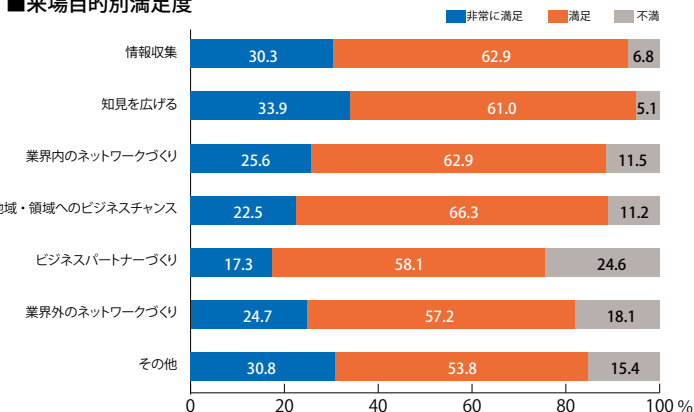
■業務内容



■来場目的（複数回答）



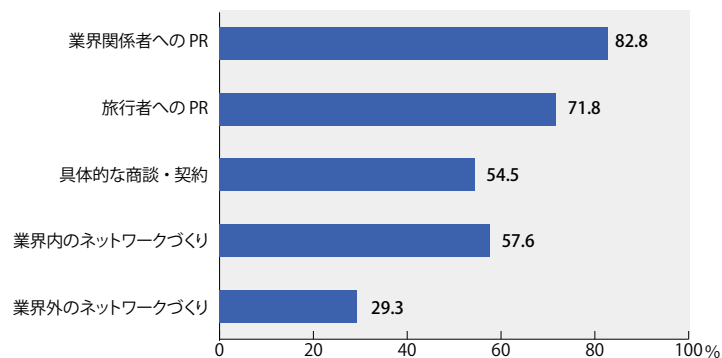
■来場目的別満足度



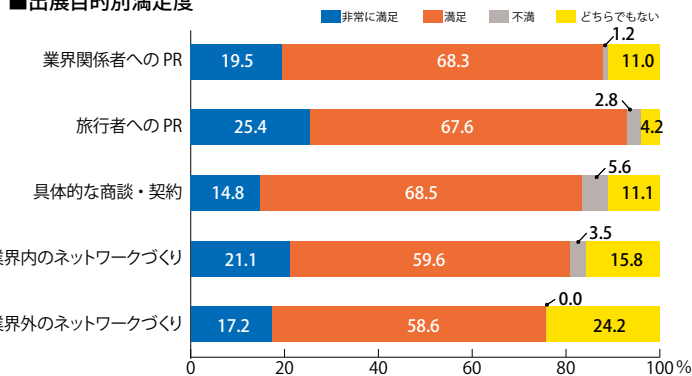
出展者アンケート

出展目的は「業界関係者へのPR」「旅行者へのPR」が7割から8割を占めるが、TEJ2019と比べ「業界内のネットワークづくり」（2019年比13.2%増）、「具体的な商談・契約」（同5.2%増）、「業界外のネットワークづくり」（同9.5%増）と、商談会への期待がより高まってきていることがうかがえる。目的別満足度も7割から9割と高く、特に「業界外のネットワークづくり」については、「不満」という回答が0となっている。

■出展目的（複数回答）



■出展目的別満足度



今回の出展で得られた成果

- ・4年ぶりの東京開催で、業界関係者・一般消費者の双方にPRできる機会が持て、本格的な旅行ビジネス再開への良いスタートが切れた。
- ・アフターコロナに向けて、国内外の旅行会社等との商談により、地域の最新情報・魅力を直接説明し、認知度向上・送客促進につながるきっかけとなった。また、先方からもさまざまな要望や現状を聞くことができた。
- ・コロナ禍で途絶えていた業界関係者とのネットワークづくり、各地域の誘客に関する取り組み状況の把握ができた。
- ・旅行に関心の高い層への直接的な売り込みで効果的なPRができ、B to B、B to Cともに観光への関心の高さを肌で感じることができたリアルイベントだった。

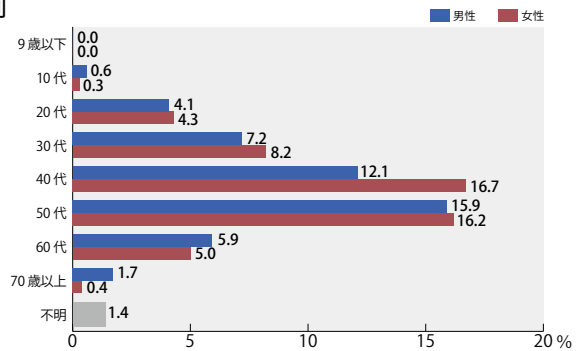
- ・ふだん接触機会が少ない首都圏の業界関係者・一般消費者に対して、効果的なPR活動を実施できた。
- ・今回、単独出展を行い、地域名のPRを効果的に行うことができた。
- ・初出展として想像もつかないくらいたくさんの方々に関わることができ、当協会事業の必要性を再認識した。
- ・多種多様な業界の方がブースにいられて、PRや情報交換、一般の来場者にアンケート調査を行うことができた。
- ・他の自治体の取り組みやトレンド、出展の見せ方やPRポイントがわかり、参考になった。

一般来場者アンケート

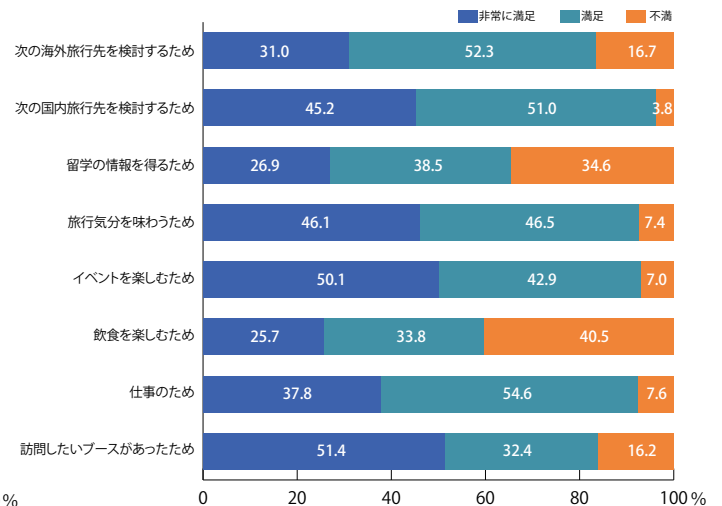
来場者の性別は、女性層が51.1%と若干上回るものの、男女比がほぼ半々となった。年代順では50代、40代、30代、60代、20代の順となっている。来場目的は「イベントを楽しむため」「旅行気分を味わうため」が上位を占めるが、旅行関連の規制緩和も追い風となり、「次の海外旅行先を検討するため」「次の国内旅行先を検討するため」という旅行意欲の高い「旅好き」も多く訪れ、総じて満足度も高い。

東京開催は4年ぶりということもあり、この時期としてはたくさんの来場者でにぎわいを見せた。

年代・性別



来場目的別満足度

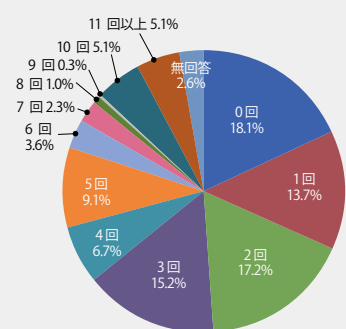


一般来場者の旅行動向

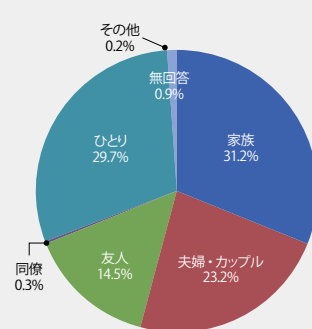
過去の旅行体験については、コロナ禍で旅行に行きたくても行けない状況が続く中、国内旅行、海外旅行ともに0回という回答がトップを占める結果となった。同行者では、国内旅行、海外旅行ともに1位の「家族」は変わらないが、「ひとり」が2位となりその割合も上がっている。旅行形態は、「個人で手配」が国内旅行では8割強を占め、海外旅行でも6割弱を占めている。旅行手配先としては、航空会社やホテルに直接、OTA、旅行会社ともにインターネット利用が一般的となりつつあることがうかがえる。

国内旅行

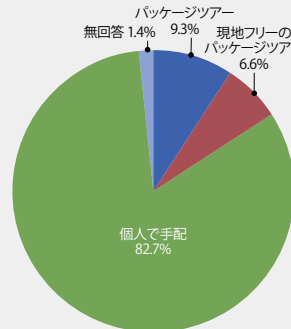
過去1年間の旅行経験（宿泊旅行）



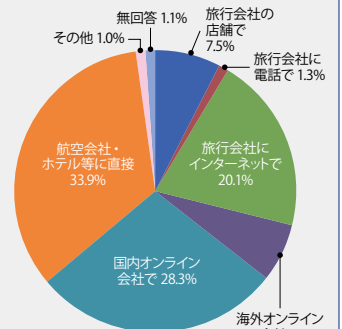
同行者



旅行形態

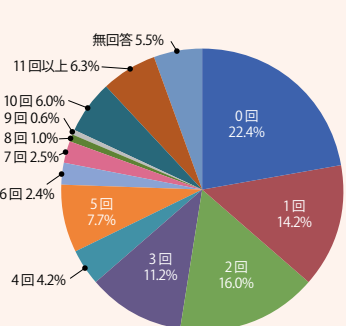


旅行手配先

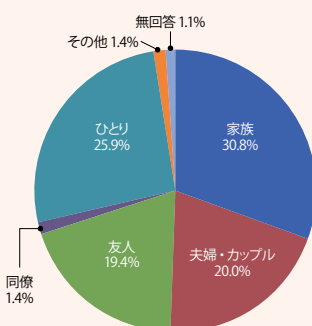


海外旅行

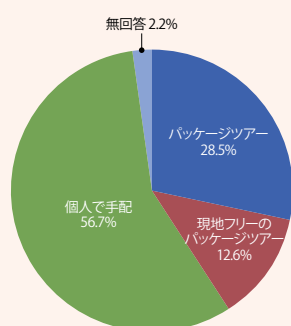
過去5年間の旅行経験（宿泊旅行）



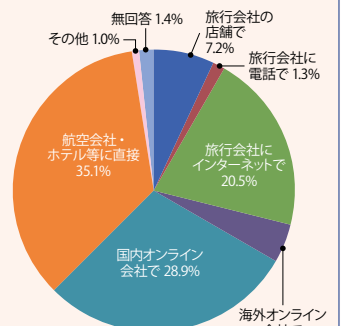
同行者



旅行形態



旅行手配先





フードコート

各地の名物料理を食べ比べ！ 目の前での実演販売も

今年も日本各地の名物料理や和菓子、ラーメンに加え、カレー、ハンバーガーなど世界のグルメを提供する11団体が出展。会場内では、牡蠣焼きや鮎の塩焼き、肉巻きおにぎり、中津からあげ、宮崎辛麺、札幌ラーメン、インドカレー、ケバブなどの食欲をそそられる匂いに誘われて多くの来場者が訪れ、食を通じて旅行気分を楽しんだ。



🍷 グルメお取り寄せコーナー

会場内で試食・試飲して、気に入ったら後でお取り寄せできる新企画！

ツーリズムEXPOジャパン 2022では、会場で出展者が試食・試飲などを提供する各地の特産品や名産品等のグルメを集めた「グルメお取り寄せコーナー」を公式サイトで公開。これまでも、各地自慢の銘酒やスイーツ、フルーツなどの試食や試飲を行う出展者は多かったが、来場者から「購入したい」という声も多く、こうした要望に応えたもの。

公式サイト「グルメお取り寄せコーナー」には、計63件のお取り寄せグルメが掲載され、2022年12月まで購入が可能となっている。



公式サイトの画面

ニューノーマル時代に求められる旅のスタイルを、躍動感あふれるビジュアルでアピール

公式ウェブサイト4月1日にリニューアルオープンし、5月から定期的にメールマガジンの配信を開始。7月の開催概要発表会見を皮切りに、ブランド広報部会をはじめとした関係各団体の協力による告知活動を本格化し、プレスリリース、メールマガジン、SNS、チケットプレゼントなどを実施。継続的にメディアに情報発信＆アプロ

チを行った。

結果、会期中には水際対策緩和や全国旅行支援実施の時流にも乗り、テレビ・新聞・WEBにおける主要メディアにおいて多数の露出を獲得。特にTVを中心に取材先ブースを積極的に提示し、今年の切り口である“新しい旅のカタチの体験”の露出獲得に成功した。

開催テーマ

開催テーマ「新しい時代へのチャレンジ～ReStart～」を掲げ、ニューノーマル時代の新しい旅のカタチを提供するとともに、旅のチカラで地域振興への貢献、そして持続可能な観光振興を推し進め、新しい国際交流のカタチを日本から発信。

4年ぶりの東京開催となる世界最大級の観光産業イベント「ツーリズムEXPOジャパン2022」は、一般来場者向けテーマを「HELLO NEW JOURNEY」とし、旅に出たい多くの人に向けて、新しい時代の新しい旅のカタチを提示した。

キービジュアル

●クリエイティブコンセプト●

長期にわたる外出自粛や渡航制限により、旅に出たいという人々の思いが一気に加速し、旅の感動、高揚感をよみがえらせ、リズムカルに鼓動と動きを持たせることで、感動、笑顔をダイレクトにビジュアル化し来場を訴求した。



メディア総露出数:1,710件 広告換算合計:443,839,663円(4～10月)
メディア来場:テレビ局、新聞社など主要メディアを含む1,012名(延べ)が来場

記者会見開催に向けて

(1) 開催名称: ツーリズムEXPOジャパン2022 主催団体概要発表会見

開催日: 7月11日(月)

場 所: JATA研修室(日本旅行業協会内)

内 容: 第1部 TEJ2022 開催概要
 第2部 同時開催イベントについて

出席メディア: 30社32名(テレビ1局、ラジオ1局、新聞・通信社9社、雑誌9社、Web7メディア、業界3メディア)

7月11日(月) ●日本テレビ「news every.」(放送時間: 15:50～19:00)



(2) JATA定例記者会見

開催日: 9月14日(水)

場 所: JATA研修室(日本旅行業協会内)

内 容: 展示会見どころ、フォーラム&セミナー等、取材ポイント

出席メディア: 17社18名(テレビ2局、新聞・通信社7社、業界8メディア)

(3) 主催団体記者会見

開催名称: ツーリズムEXPOジャパン2022

主催団体記者会見

開催日: 9月22日(木)

場 所: 東京ビッグサイト東展示棟 東2ホール Aステージ

出席メディア: 22社32名(テレビ1局、新聞・通信社3社、業界18メディア)

新聞掲載

●朝日新聞 7月12日(火)

旅の見本市 4年ぶり東京開催
 観光産業の復興を促す旅の見本市「ツーリズムEXPOジャパン」が7月12～14日、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる。東京開催は4年ぶり。コロナ禍では、心躍る旅のスタイルをコンセプトにした一歩先の旅の未来「HELLO NEW JOURNEY」をテーマに、最新の観光情報を発信する。

●読売新聞 7月12日(火)

観光産業の復興を促す旅の見本市「ツーリズムEXPOジャパン」が7月12～14日、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる。東京開催は4年ぶり。コロナ禍では、心躍る旅のスタイルをコンセプトにした一歩先の旅の未来「HELLO NEW JOURNEY」をテーマに、最新の観光情報を発信する。

テレビ露出数：5局6番組 7件 (9~10月)

9月22日(木) ●NHK「首都圏ネットワーク」
(放送時間：18:00~19:00)
観光地の魅力PR・国内最大級イベント
(露出尺38秒)



9月23日(金) ●日本テレビ「ZIP!」
(放送時間：6:30~8:00/露出尺：3分44秒)
<ZIP! LIFE BIZ>
旅行の祭典開催・最新トレンドは？



9月23日(金) ●テレビ朝日「グッド!モーニング」
(放送時間：4:55~8:00)
“旅の祭典” 4年ぶり東京開催
(露出尺：1分2秒)



9月23日(金) ●フジテレビ「ノンストップ!」
(放送時間：9:55~10:20/露出尺：1分8秒)
家族で楽しむ！
ツーリズムEXPO・体験コーナー充実で旅行気分↑↑



9月24日(土) ●フジテレビ「めざましどようび」
(放送時間：6:00~8:30/露出尺：3分)

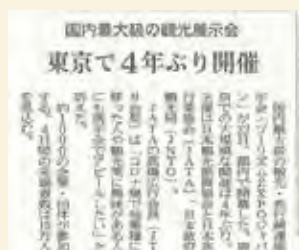


9月26日(月) ●テレビ朝日「グッド!モーニング」
(放送時間：4:55~8:00/露出尺：1分27秒)
<もっと知りたい!NEWS>
「全国旅行割」・きょうにも詳細公表

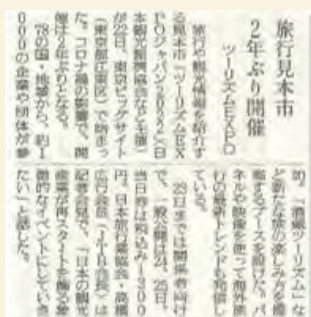


新聞・雑誌 露出数：170件 (9~10月)

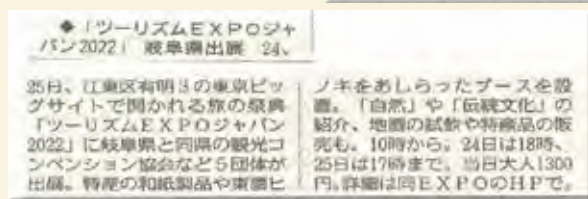
●読売新聞(東京) 9月23日(金)



●日本経済新聞(東京) 9月23日(金)



●東京新聞 9月22日(木)



WEB/SNS 露出数：1,054件 (9~10月)

●トラベルWatch 9月22日(木)



●共同通信 9月22日(木)



制作物

●A4チラシ (業界来場者用)



●A4チラシ (一般来場者用)



●サイネージ (15秒/30秒)



SNS展開

ブランド広報部会各社、関係各社・団体、出展者の公式SNSにて、開催告知一斉投稿キャンペーンを行い、観光産業全体で盛り上げているイベントとして来場促進のための周知を図った。（以下、事業者の投稿例）

●ぶんかる【文化庁公式】 (フォロワー数：46,243人)



●観光庁 (Japan Tourism Agency) (フォロワー数：100,470人)



●ANA【公式】 (フォロワー数：1,151,982人)



●ハワイ- gohawaii.com (フォロワー数：2,390,916人)



●HIS_japan エイチ・アイ・エス【公式】 (フォロワー数：106,006人)



●Tahiti Tourisme (フォロワー数：1,051,780人)



●JTB【公式】国内旅行・海外旅行 (フォロワー数：198,746人)



●JAPAN AIRLINES (JAL) (フォロワー数：1,960,635人)



東日本旅客鉄道株式会社 ●業務枠協力掲示 (サイネージ/新宿駅)



全日本空輸株式会社 ●『翼の王国8月号』



株式会社読売旅行 ●『旅行読売10月号』



日本航空株式会社 ●『SKYWARD 8月号』



オフィス来客スペースへの ポスター掲示



制作物

●B1ポスター



●B3ポスター



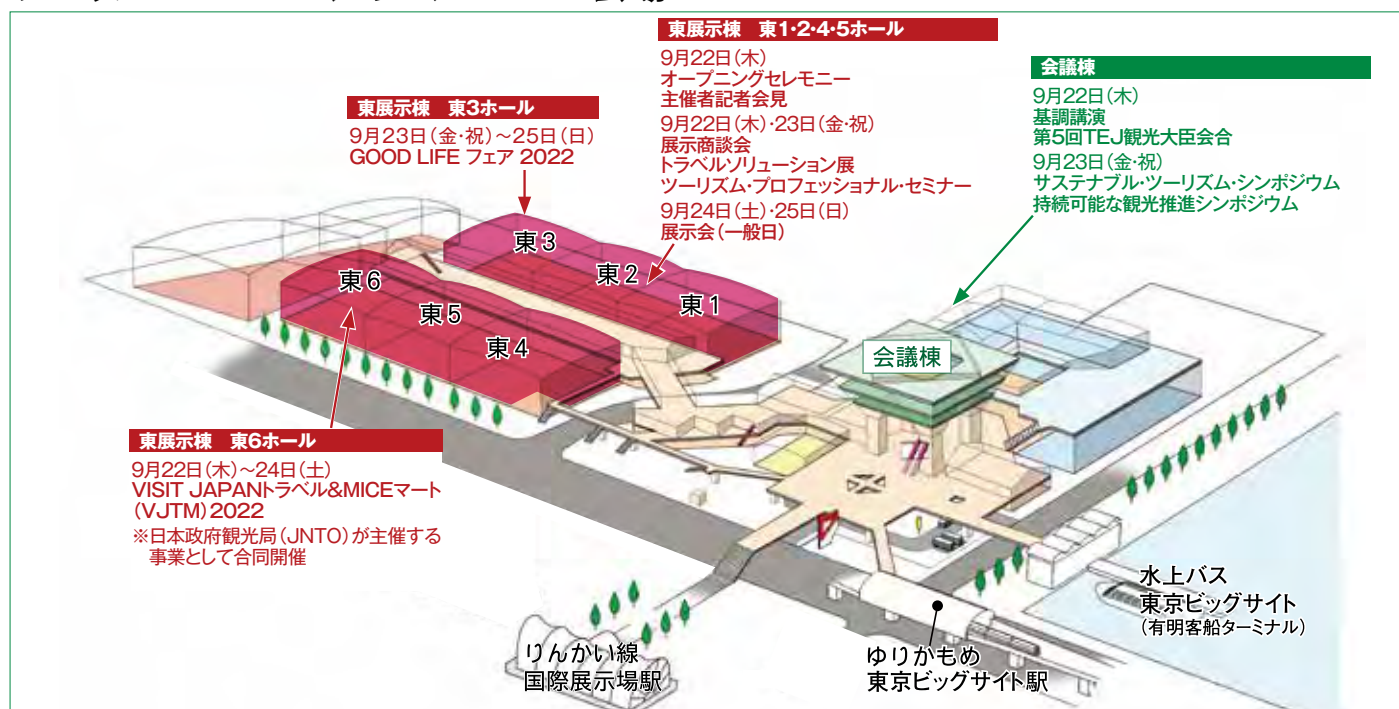
●2022 TEJ DAILY NEWS



ツーリズムEXPOジャパン 全体スケジュール

日	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
9月22日 (木)	会議棟 605-608	オープニングセレモニー 9:30 - 10:00		主催者記者会見 10:15 - 10:45		基調講演 13:00 - 13:30		第5回TEJ観光大臣会合 13:50 - 15:50				
	東展示棟 東 1・2・4・5ホール				展示商談会 10:00 - 17:00							
					トラベルソリューション展 2022 10:00 - 17:00						オープニング レセプション 17:00 - 18:00	小間内 レセプション 17:00 - 19:00
					ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30 - 17:00							
	東展示棟 東 6 ホール	VISIT JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2022 9:00 - 18:00										
9月23日 (金・祝)	会議棟 605-608	サステナブル・ツーリズム・シンポジウム 10:00 - 11:30			持続可能な観光推進シンポジウム 13:00 - 14:30							
	東展示棟 東1・2・4・5ホール		ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30 - 18:00									
			展示商談会 10:00 - 18:00									
			トラベルソリューション展 2022 10:00 - 18:00									
	東展示棟 東 3 ホール		GOOD LIFE フェア 2022 10:00 - 18:00									
	東展示棟 東 6 ホール	VISIT JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2022 9:00 - 18:00										
9月24日 (土)	東展示棟 東1・2・4・5ホール		展示会 (一般日) 10:00 - 18:00									
	東展示棟 東 3 ホール		GOOD LIFE フェア 2022 10:00 - 18:00									
	東展示棟 東 6 ホール	VISIT JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2022 9:00 - 12:00										
9月25日 (日)	東展示棟 東1・2・4・5ホール		展示会 (一般日) 10:00 - 17:00								閉会式・グランドフィナーレ 16:30 - 17:00	
	東展示棟 東 3 ホール		GOOD LIFE フェア 2022 10:00 - 17:00									

ツーリズム EXPO ジャパン 2022 会場



■ 東京ビッグサイト ゆりかもめ「東京ビッグサイト」駅下車 徒歩約3分
りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分

運営／協賛・協力機関団体リスト

【イベント名称】 ツーリズムEXPOジャパン 2022 / Tourism Expo Japan 2022
 【主 催】 公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）

組織委員会

<委員長>

山西 健一郎 公益社団法人 日本観光振興協会 会長

<副委員長>

高橋 広行 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 会長
 ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長

清野 智 日本政府観光局（JNTO） 理事長

<委員>

植木 義晴 公益社団法人 日本観光振興協会 副会長
 日本航空株式会社 取締役会長
 大西 雅之 一般社団法人 日本旅館協会 会長
 岡崎 正明 株式会社ジェーシービー 取締役 兼 常務執行役員
 奥田 直久 環境省 自然環境局長
 片野坂 真哉 公益社団法人 日本観光振興協会 副会長
 ANAホールディングス株式会社 代表取締役会長
 喜勢 陽一 東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長
 後藤 高志 公益社団法人 日本観光振興協会 副会長
 株式会社西武ホールディングス 代表取締役社長
 小谷野 悦光 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 副会長
 株式会社日本旅行 代表取締役社長
 近藤 幸二 一般社団法人 全国旅行業協会（ANTA） 副会長
 坂本 雅彦 東京都産業労働局 局長
 高橋 亨 BOAR（在日航空会社代表者協議会） 議長
 ユナイテッド航空会社
 日本・ミクロネシア地区営業担当 支社長
 武内 紀子 一般社団法人 日本経済団体連合会 審議委員会副議長、
 観光委員長
 株式会社 コングレ 代表取締役社長
 都倉 俊一 文化庁 長官
 野本 弘文 一般社団法人 日本民営鉄道協会 会長
 東急電鉄株式会社 取締役会長

フレデリック・マゼンク 駐日外国政府観光局協議会 会長
 フランス観光開発機構 在日代表
 室伏 広治 スポーツ庁 長官
 茂木 正 経済産業省 商務・サービス審議官
 山北 栄二郎 株式会社JTB 代表取締役 社長執行役員
 由木 文彦 東日本高速道路株式会社 代表取締役社長
 和田 浩一 観光庁 長官

<監事>

漆原 聡之 ANAホールディングス株式会社 グループ監査部
 マネージャー

田中 正人 田中正人税理士事務所 所長

実行委員会

<委員長>

高橋 広行 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 会長

<副委員長>

久保田 穰 公益社団法人 日本観光振興協会 理事長
 蔵持 京治 日本政府観光局（JNTO） 理事長代理

<委員>

本保 芳明 国連世界観光機関駐日事務所 代表
 池光 崇 観光庁 審議官
 石井 智二 全日本空輸株式会社 上席執行役員 CX推進室長

今泉 典彦 一般社団法人 日本経済団体連合会
 観光委員会 企画部会長

株式会社第一生命経済研究所 総合調査部
 マクロ環境調査グループ 研究理事

岩崎 友嗣 近畿日本ツーリスト株式会社 教育・団体旅行部長

内元 清貴 グローバルコミュニケーション開発推進協議会
 事務局代表

遠藤 克己 日本政府観光局（JNTO） 理事

岡野 隆宏 環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 室長

坂元 隆 株式会社読売旅行 代表取締役社長

清水 哲夫 東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授

志村 格 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 理事長

鈴木 昭久 公益社団法人 日本観光振興協会 副理事長

築田 真由美 東京都産業労働局 観光部 部長

中野 星子 日本航空株式会社 執行役員 旅客営業本部 副本部長

中原 裕彦 文化庁 審議官

平澤 哲哉 東京商工会議所 地域振興部長

藤原 卓行 株式会社JTB 執行役員 仕入商品事業部長

古澤 英樹 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部

くらしづくり・地方創生部門 観光戦略室長

星野 芳隆 スポーツ庁 審議官

宮澤 伸 日本商工会議所 地域振興部長

村見 拓一 東武トップツアーズ株式会社 営業統括本部 国内旅行部長

吉田 尚史 株式会社日本旅行 執行役員 営業戦略本部 統括副本部長

【特別協力】 一般社団法人 全国旅行業協会（ANTA）

【後 援】 国土交通省、国土交通省観光庁、総務省、外務省、
 スポーツ庁、文化庁、厚生労働省、農林水産省、
 環境省、東京都、公益財団法人 東京観光財団、
 独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）、
 一般社団法人 日本経済団体連合会、
 日本商工会議所、東京商工会議所

【企画運営】 ツーリズムEXPOジャパン推進室

【特別協賛】 株式会社ジェーシービー

【事業別協賛】

●展示商談会

ゴールドスポンサー：フィリピン政府観光省
 シルバースポンサー：ハワイ州観光局、全日本空輸株式会社、
 日本航空株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、
 日本空港ビルデング株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、
 株式会社BRICK's
 ブロンズスポンサー：株式会社オリエンタルランド、
 東京海上日動火災保険株式会社
 賛助協賛：東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、
 北海道旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、
 九州旅客鉄道株式会社

●オープニングレセプション

シルバーパートナー：全日本空輸株式会社、日本航空株式会社
 事業協力：公益財団法人 東京観光財団・高円寺阿波おどり連協会
 菊水連

●VIPパス・業界バスストラップスポンサー

株式会社旅行総研

●フォーラム＆セミナー スポンサー

有限会社プロデュース216

（2022年9月1日現在）

ツーリズムEXPOジャパン2023 **OSAKA・KANSAI**

「ツーリズムEXPOジャパン2023 大阪・関西」出展申込受付中!

2023年 **10/26_木 - 10/29_日**

開催時間 業界・プレス 26日 10:00～18:00 一般 28日 10:00～18:00
 27日 10:00～18:00 29日 10:00～17:00

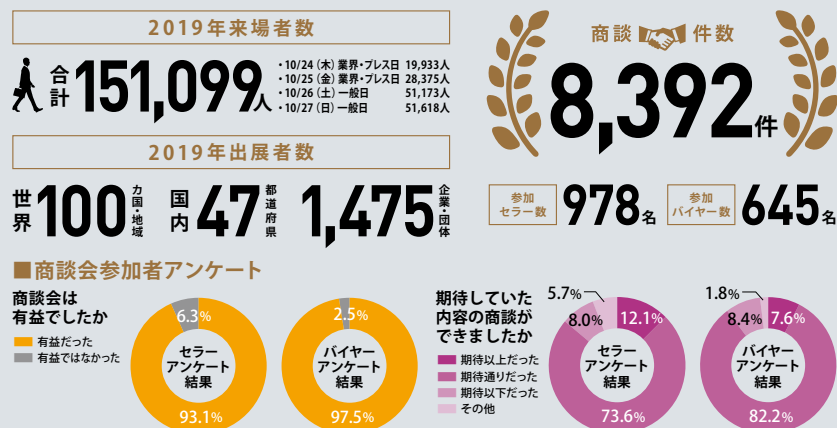
会場 INTEX OSAKA (インテックス大阪) **来場者数** (見込) 150,000人 (業界50,000人、一般100,000人)

主催 公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)、日本政府観光局 (JNTO)

合同開催 / VISIT JAPAN トラベル & MICE マート2023 (予定)

共同開催 / トラベルソリューション展2023 (予定)、GOOD LIFE フェア2023 (予定)

ツーリズムEXPOジャパン2019 大阪・関西の開催実績



ツーリズムEXPOジャパンに出展する5つの“メリット”

- 1 西日本の玄関口、関西3空港などを擁する大規模商圏であり、国内旅行・海外旅行・訪日旅行の質の高い商談が可能。
- 2 近畿圏のみならず、首都圏・関東エリアを含む全国から旅行会社バイヤー (2019年実績: 645名) が参加、2日間、事前マッチングによる商談が可能。
- 3 展示商談会で直接交流によるリアル商談と、インターネットを介したオンライン商談を選択することが可能。出展ニーズに合わせた商談ができる。
- 4 各地の特徴を生かした、新しい旅のスタイルを関西圏の一般来場者に直接アピールできる絶好の機会 (来場見込15万人)。
- 5 日本政府観光局が主催する訪日旅行商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート (VJTM) 2023」と合同開催。※予定

料金表

出展料	基礎小間		スペース (敷地のみ)	
	スーパー早期割引 (10%引き) 2022年12月27日 (火)	¥519,750 (税込) / 小間 (9㎡)	¥467,775 (税込) / 9㎡	
	早期割引 (8%引き) 2022年12月28日 (水) ~ 2023年3月31日 (金)	¥531,300 (税込) / 小間 (9㎡)	¥478,170 (税込) / 9㎡	
	通常 2023年5月31日 (水)	¥577,500 (税込) / 小間 (9㎡)	¥519,750 (税込) / 9㎡	

(注) 基礎小間、スペースの仕様は、ホームページにてご確認ください。スペース (敷地のみ) の場合は、36㎡以上のお申込にてお受けします。

お申込みは公式サイトから! <https://t-expo.jp/exhibit2023>

[問合せ先] ツーリズムEXPOジャパン推進室

E-mail: event@t-expo.jp TEL: 03-5510-2004

各種情報・資料等の閲覧、ダウンロードはこちら

公式ホームページ <https://t-expo.jp>